

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年03月28日

大建工業健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	62916
組合名称	大建工業健康保険組合
形態	単一
業種	その他の製造業

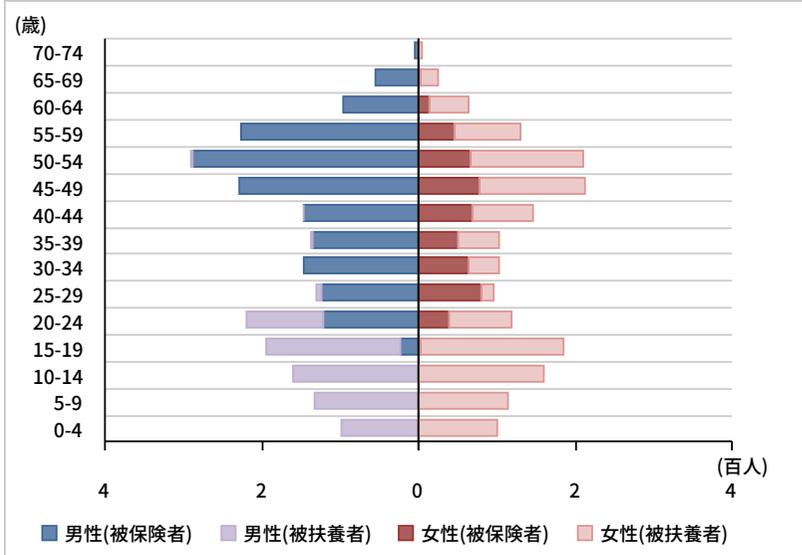
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	2,106名 男性75.7% (平均年齢44.3歳) * 女性24.3% (平均年齢40.2歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	4,029名	-名	-名
適用事業所数	3カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	3カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	99‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	7	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	1,484 / 1,815 = 81.8 %	
	被保険者	1,280 / 1,280 = 100.0 %	
	被扶養者	204 / 535 = 38.1 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	102 / 348 = 29.3 %	
	被保険者	99 / 327 = 30.3 %	
	被扶養者	3 / 21 = 14.3 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	2,140	1,016	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	4,250	2,018	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	5,586	2,652	-	-	-	-
	疾病予防費	72,500	34,425	-	-	-	-
	体育奨励費	4,250	2,018	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	1	0	-	-	-	-
	小計 …a	88,727	42,131	0	-	0	-
経常支出合計 …b	1,370,385	650,705	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	6.47		-	-	-	-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	22人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	121人	25～29	124人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	146人	35～39	135人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	147人	45～49	229人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	289人	55～59	227人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	95人	65～69	55人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	5人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	2人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	39人	25～29	80人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	64人	35～39	51人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	68人	45～49	78人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	67人	55～59	46人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	13人	65～69	3人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	99人	5～9	132人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	160人	15～19	171人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	99人	25～29	7人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	0人	35～39	2人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1人	45～49	0人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	2人	55～59	0人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	0人	65～69	0人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	100人	5～9	114人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	161人	15～19	183人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	80人	25～29	16人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	39人	35～39	52人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	77人	45～49	134人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	143人	55～59	84人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	51人	65～69	23人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	5人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

加入者数は年々増加しており、年少者が減少、生産年齢（15-39歳、40-64歳）と前期高齢者が増加傾向である。特に前期高齢者の割合が増加している。40歳以上が全体の約5割、被保険者では約6割を占める。加入者数は被保険者が被扶養者よりやや多い。

男女の比率は4:3。男女とも45-54歳の割合が高く、20-44歳の割合が少ない。

被保険者は男性が女性の3.3倍多く、45-59歳の割合が高い。

被扶養者は、女性が男性の1.8倍多く、40歳以上の男性は4人である。0-19歳までの割合が高く、女性では45-54歳の割合も高い。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

- ・特定健診事業、被保険者の受診率は比較的高いものの、被扶養者の受診の意識は依然低く、受診率向上の施策が課題。
- ・疾病予防事業では健診補助を中心に実施しており、一定の効果は出ているが、更に受診率を向上させ早期発見につなげたい。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	ホームページ運用
保健指導宣伝	育児Q&A
保健指導宣伝	社会保障関係専門誌「週刊社会保障」購読
保健指導宣伝	健康情報誌「すこやかファミリー」配布
保健指導宣伝	けんぼだより配布
保健指導宣伝	育児専門誌配布
保健指導宣伝	医療費通知書配布
疾病予防	健康管理研究会参加
疾病予防	総合健診補助
疾病予防	大腸がん検診
疾病予防	子宮がん検診
疾病予防	歯科検診
疾病予防	救急保険衛生薬品
疾病予防	自治体及び婦人科健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種
体育奨励	ウォーキング

事業主の取組

1	労組協賛体づくりゲーム
2	ウォーキング

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
加入者への意識づけ												
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健診	健診実施により将来の医療費適正化を図る	全て	男女	40～74	-	672	各健診機関からデータ回収システムに入力	各健診機関のデータ形式を統一するよう推進	一部の健診機関でXMLデータの対応ができていない	4
	4	特定保健指導	特定保健指導により将来の医療費適正化を図る	全て	男女	40～74	-	2,110	外部委託により実施。	通知内容を見直し、積極的に勧奨した。	被扶養者の実施件数が少ない。	4
	8	ホームページ運用	加入者に対する健康保険組合運営に関する情報提供	全て	男女	0～74	-	1,000	インターネットの環境があれば、基本どこでも閲覧可能、医療費のお知らせWEB化実施	被扶養者にも直接閲覧可能にしたことにより、申請書のやりとりが円滑になった	より分かり易くするためのリニューアル。	4
	5	育児Q&A	対象者の育児知識の向上	全て	男女	0～74	-	280	1人目誕生後0歳～3歳になるまで希望者に配布	-	-	4
	8	社会保障関係専門誌「週刊社会保障」購読	社会保障関連知識の習得	一部の事業所	男女	50～(上限なし)	-	50	知識習得のツールとして健保内で回覧	-	-	4
	5	健康情報誌「すこやかファミリー」配布	被扶養者へ健康情報提供	全て	女性	18～74	-	400	年2回×1カ年⇒1,500部	-	-	4
	2,5	けんぽだより配布	加入者へ健保の財政運営の周知、保健事業の紹介	全て	男女	20～74	-	1,000	年1回×1カ年⇒2,100部	自宅へ直送、被扶養者へも保健事業の案内	-	4
	5,6	育児専門誌配布	第1子誕生時に配布、育児のための知識提供	全て	女性	20～45	-	100	「わくわく育児」配布。	専門誌のアンケートに相当数返信がある	-	4
	2,7	医療費通知書配布	医療費の内容周知により健康意識の啓蒙を図る	全て	男女	20～74	-	530	毎月。	業務効率化のためWEB化	-	4
	疾病予防	5	健康管理研究会参加	健康管理に関する知識の醸成	全て	男女	20～74	-	0	年4回開催	周辺知識の習得	-
3		総合健診補助	健診実施により将来の医療費適正化を図る	全て	男女	35～74	-	5,050	年1回実施	早期発見による重症化予防	特に被扶養者へは、被保険者経由の案内なので周知されていない可能性がある	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
	3	大腸がん検診	健診実施により将来の医療費適正化を図る	全て	男女	35～74	-	420	年1回実施	早期発見、早期完治が期待できる	案内のみとなり、受診者数は増えていない	4
	3	子宮がん検診	健診実施により将来の医療費適正化を図る	全て	女性	35～74	-	200	年1回実施。婦人科健診併給は×	早期発見、早期完治が期待できる	案内のみとなり、受診者数は増えていない	4
	3	歯科検診	健診実施により将来の健康寿命の延伸を図る	全て	男女	20～65	-	4,500	年1回、各事業所で実施	歯の健康に対する意識づけになっている	事業所が各地に点在するため、地域によってはフォローできない	4
	8	救急保険衛生薬品	家庭用常備薬配布により健康管理の一助とするため	全て	男女	20～74	-	300	各事業所の新規被保険者へ配布	健康への初期段階の意識づけとなる	—	4
	3	自治体及び婦人科健診	健診実施により将来の健康寿命の延伸を図る	全て	女性	30～74	-	510	上限5,000円補助	早期発見、早期完治が期待できる	案内のみとなり、受診者数は増えていない	4
	8	インフルエンザ予防接種	インフルエンザの予防及び重症化予防	全て	男女	0～74	-	2,000	10月～2月。	予防接種により、未然に重症化を防げる	自治体により集団接種禁止のところもある	4
体育奨励	5	ウォーキング	健康の増進により職場の活性化を図る	一部の事業所	男女	20～74	-	340	工場で実施。	職場内のイベントを通じてメンタル疾患を未然に防ぐ効果が期待できる	—	4

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
労組協賛体力づくりゲーム	全事業所対象に実施	被保険者	男女	20 ～ 40	参加加入員 172名	-	-	有
ウォーキング	2事業所で実施	被保険者 被扶養者	男女	20 ～ 74	参加加入員 240名	-	-	有

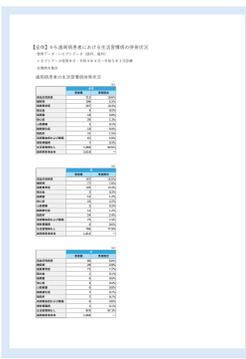
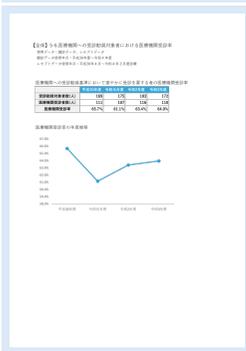
STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		1-1.年齢階級別加入数の経年推移	加入者構成の分析	加入者数は年々増加しており、年少者が減少、生産年齢（15-39歳、40-64歳）と前期高齢者が増加傾向である。特に前期高齢者の割合が増加している。40歳以上が全体の約5割、被保険者では約6割を占める。加入者数は被保険者が被扶養者よりやや多い。
イ		1-2.性別・年齢階級別加入者数の状況	加入者構成の分析	男女の比率は4:3。男女とも45-54歳の割合が高く、20~44歳の割合が少ない。 被保険者は男性が女性の3.3倍多く、45-59歳の割合が高い。 被扶養者は、女性が男性の1.8倍多く、40歳以上の男性は4人である。0-19歳までの割合が高く、女性では45-54歳の割合も高い。
ウ		2-1.医療費の経年推移	医療費・患者数分析	総医療費は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少したが、それ以降増加に転じている。1人当たり医療費は、被扶養者は全体と同様に令和3年以降増加しているのに対し、被保険者は令和4年度は前年度からやや減少している。総医療費、1人当たり医療費とも被扶養者が被保険者を上回っている。

工		2-2.性別医療費の経年推移	医療費・患者数分析	<p>全体では総医療費は男性のほうが高いが、1人当たり医療費は女性のほうが高い。</p> <p>被保険者の1人当たり医療費は、男性が女性より高く、経年では男女とも令和2年度に減少しその後増加するが、令和4年度は男性は増加、女性は減少している。</p> <p>被扶養者の1人当たり医療費は、令和2年度、令和3年度は女性が男性より高いが、令和4年度は逆転している。</p>
才		3-1.疾病大分類別・入外別医療費の状況	医療費・患者数分析	<p>入院では循環器系、新生物、消化器系が多く、入院外では循環器系、呼吸器系、血液・免疫が多い。被保険者ではがん、生活習慣病関連疾患の占める割合が高く、被扶養者では循環器系、血液・免疫、呼吸器系の占める割合が高い。</p>
力		3-2.疾病大分類別加入者1人当たり医療費の年度推移（上位10位）	医療費・患者数分析	<p>1人当たり医療費は循環器系が最も高く、次いで呼吸器系、血液・免疫の順である。経年でみると、全体的に新型コロナウイルスの影響で令和2年度に減少もしくは横ばいとなっているが、令和3年以降、循環器系は令和3年度に増加し令和4年度に減少、新生物は年々減少、呼吸器系、血液・免疫、特殊目的の増加幅が大きい。被保険者では、新生物が高く、被扶養者では循環器系が高いが血液・免疫が令和4年に大きく増加している。</p>
幺		3-3.疾病大分類別・入外別患者数の状況	医療費・患者数分析	<p>入院では消化器系、新生物、その他の外因が多く、入院外では呼吸器系、眼科系、皮膚が多い。</p>

ク		3-4.疾病大分類別患者1人当たり医療費の年度推移(上位10位)	医療費・患者数分析	血液・免疫、周産期の増加幅が大きい。大別すると妊娠・出産に関連するもの、がん・生活習慣病に関するもの、精神・神経に関するものの医療費が上位10位に入っている。
ケ		3-10.生活習慣病の経年推移	医療費・患者数分析	高血圧性疾患、脂質異常症、糖尿病の順に患者割合が高い。糖尿病は患者割合は減少しているが、加入者1人当たり医療費は最も高く、患者1人当たり医療費は増加傾向である。患者1人当たりの医療費は脳出血が最も高い。
コ		3-15.がんの経年推移	健康リスク分析	被保険者では大腸がん、胃がんが多く、被扶養者では乳がんが多い。加入者1人当たりの医療費では乳がんが毎年上位3位以内に入っている。患者1人当たり医療費では白血病や悪性リンパ腫が高額である。膵臓がんが加入者・患者1人当たり医療費が、前立腺がんが患者1人当たり医療費が急増している。
サ		3-18.性別精神疾患	健康リスク分析	精神疾患が総医療費に占める割合は3.7%で、男性より女性の割合が高い。精神疾患の医療費のうち、男性は神経性障害が多く(44.6%)、女性はうつ病が多い(35.9%)。患者数や患者割合はその他の精神及び行動の障害、神経症性障害、うつ病が多く、加入者一人当たりの医療費は神経症性障害が、患者一人当たりの医療費は統合失調症が高い。被扶養者でその他の精神及び行動の障害が多い。

シ		4-5.歯周病患者における生活習慣病の併発状況	健康リスク分析	生活習慣病の併発割合は、高血圧性疾患、脂質異常症の併発割合が約10%ずつみられ、糖尿病は5%程だった。生活習慣病のない人が約8割であった。
ス		5-1.特定健診受診率	特定健診分析	特定健診の受診率は令和4年度72.0%で、平成30年度と比較すると13.1%増加しているものの、国の目標値(90%)と比べて低い水準である。受診率を被保険者、被扶養者別にみると、被扶養者の受診率が低く、特に男性の被扶養者は令和元年以降0%である。
セ		5-6.医療機関への受診勧奨基準において速やかに受診を要する者の医療機関受診率	特定健診分析	令和3年度の医療機関への受診勧奨基準において速やかに受診を要する者は172人であり、医療機関受診率は64.0%であった。経年では令和元年度に減少したが、その後は年々増加している。被保険者は平成30年度から令和2年度まで減少したが、令和3年度はやや増加している。被扶養者は令和元年度に20.0%に大きく減少したものの、令和2年度以降増加し、令和3年度は60.0%に達した。
ソ		5-12.生活習慣リスク保有率(運動習慣、食事習慣、睡眠習慣、飲酒習慣、喫煙)	健康リスク分析	<p>【運動習慣】 運動習慣のリスク保有率は平成30年度から令和4年度まで減少しており、令和4年度の運動習慣のリスク保有率は68.3%と過去5年間で最も低くなっているものの、7割近くの人が運動習慣のリスクを有している。</p> <p>【睡眠習慣】 令和4年度の睡眠習慣のリスク保有率は34.8%であり、経年では令和2年度に低下したが、令和3年度以降は増加傾向である。3割以上の人が睡眠習慣のリスクを有している。</p>

タ		5-13.リスクフローチャート（血圧）	健康リスク分析	血圧のリスク保有者のうち、医療機関受診中のコントロール不良者が118人（8.2%）、医療機関受診勧奨者が154人（10.7%）になり、そのうちⅢ度高血圧の該当者10人中、9人が被保険者である。
チ		5-14.リスクフローチャート（脂質異常症）	健康リスク分析	脂質異常症のリスク保有者のうち、医療機関受診中のコントロール不良者が143人（10.0%）、医療機関受診勧奨者が315人（22.0%）になる。
ツ		5-15.リスクフローチャート（糖尿病）	健康リスク分析	糖尿病のリスク保有者のうち、医療機関受診中のコントロール不良者が81人（5.6%）、医療機関受診勧奨者が24人（1.7%）になり、そのうち高血糖Ⅳの該当者は全て被保険者である。
テ		5-16.CKD重症度分類別人数	健康リスク分析	何らかの治療が必要なCKDステージ3から5の人が81人で全体の約15.4%である。またステージ4,5の8人は被保険者のみである。

ト		5-17.糖尿病性腎症対象者の状況	健康リスク分析	腎症の5期が1人、3期が7人おり、全員が被保険者で糖尿病治療中である。健診未受診者で過去に糖尿病治療歴があり、現在治療中断中の9人はフォローの優先度が高いと考えられる。内訳は被保険者が3人、被扶養者が6人である。
ナ		6-1.特定保健指導対象者率	特定保健指導分析	令和4年度の特定保健指導終了率は6.3%で、令和2年度に比べ5.6%増加しているものの低い水準である。被扶養者に関しては、0%である。
ニ		6-2.性別特定保健指導終了率	特定保健指導分析	令和4年度の特定保健指導終了率は6.3%で、令和2年度に比べ5.6%増加しているものの低い水準である。被扶養者に関しては、0%である。
ヌ		6-4.特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	特定保健指導分析	令和4年度の特定保健指導対象者の減少率は33.3%で、1/3に当たる7人が次年度に対象から外れた。

<p>ネ</p>		<p>7-1.後発医薬品使用率の経年推移</p>	<p>後発医薬品分析</p>	<p>数量ベースにおける使用率は、令和4年度の全体で82.8%と経年でも増加している。使用率を診療種別でみると、調剤が最も高く、年々増加しているが、医科と歯科は増減があるものの、平成30年度より増加している。</p>
<p>ノ</p>		<p>7-2.年齢階級別後発医薬品使用率の経年推移</p>	<p>後発医薬品分析</p>	<p>年齢階級別にみると、5-14歳の年代で80%を下回っている。</p>
<p>ハ</p>		<p>7-8.重複服薬状況の推移_5年用</p>	<p>その他</p>	<p>令和4年度における重複投薬患者数は14人（0.4%）であった。経年では減少傾向で、令和2年度、令和3年度に大きく減少したが、令和4年度に増加に転じた。</p>
<p>ヒ</p>		<p>7-10.多剤服薬状況の推移_5年用_健保共済用_6種</p>	<p>その他</p>	<p>令和4年度における6種の多剤投薬患者数は590人（15.0%）で、経年では令和2年度まで減少傾向で令和2年度に大きく減少したが、令和3年以降増加傾向である。</p>

【全体】 1-1.年齢階級別加入数の経年推移

使用データ：加入者データ

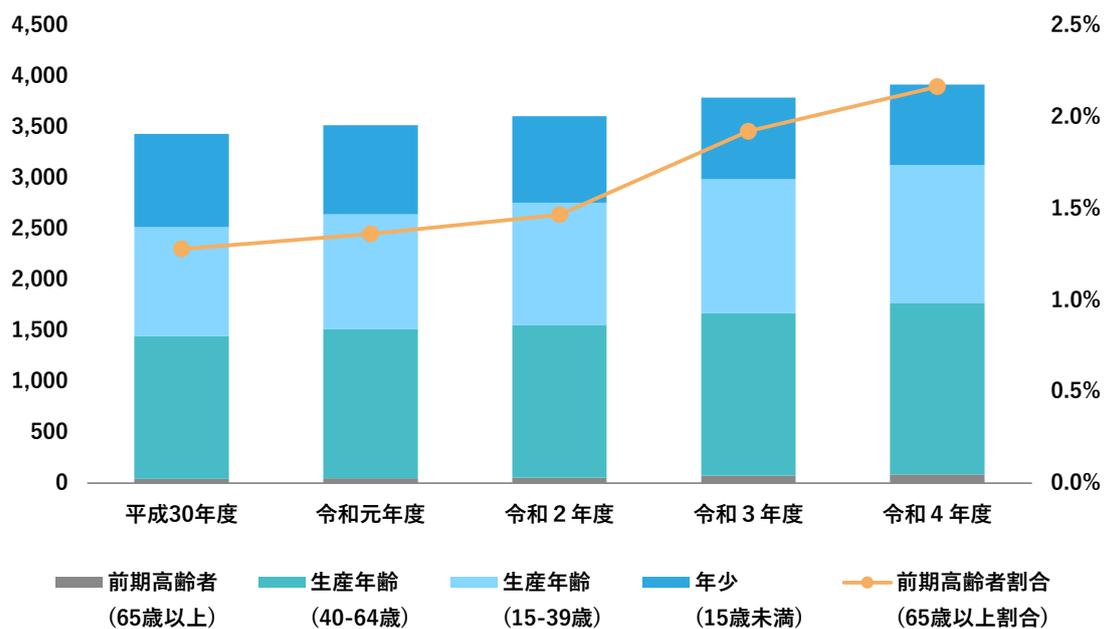
加入者データ使用年：平成30年～令和4年度末

年齢階級別加入者数の推移

(人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年少 (15歳未満)	918	876	850	805	789
生産年齢 (15-39歳)	1,074	1,131	1,205	1,320	1,359
生産年齢 (40-64歳)	1,401	1,466	1,503	1,597	1,688
前期高齢者 (65歳以上)	44	48	53	73	85
合計	3,437	3,521	3,611	3,795	3,921
前期高齢者割合 (65歳以上割合)	1.3%	1.4%	1.5%	1.9%	2.2%

(人)



【全体】1-2.性別・年齢階級別加入者数の状況

使用データ：加入者データ

加入者データ使用年：令和2年～令和4年度末

【令和2年度】

性別・年齢階級別加入者数

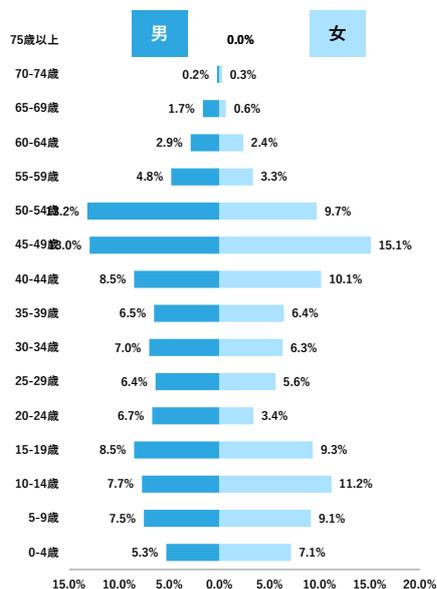
(人)

	令和2年度		
	男	女	合計
0-4歳	109	111	220
5-9歳	155	142	297
10-14歳	159	174	333
15-19歳	175	145	320
20-24歳	138	53	191
25-29歳	131	87	218
30-34歳	144	98	242
35-39歳	134	100	234
40-44歳	175	158	333
45-49歳	266	235	501
50-54歳	271	151	422
55-59歳	99	52	151
60-64歳	59	37	96
65-69歳	34	10	44
70-74歳	5	4	9
75歳-	0	0	0
合計	2,054	1,557	3,611

性別・年齢階級別加入者構成割合

	令和2年度		
	男	女	合計
0-4歳	5.3%	7.1%	6.1%
5-9歳	7.5%	9.1%	8.2%
10-14歳	7.7%	11.2%	9.2%
15-19歳	8.5%	9.3%	8.9%
20-24歳	6.7%	3.4%	5.3%
25-29歳	6.4%	5.6%	6.0%
30-34歳	7.0%	6.3%	6.7%
35-39歳	6.5%	6.4%	6.5%
40-44歳	8.5%	10.1%	9.2%
45-49歳	13.0%	15.1%	13.9%
50-54歳	13.2%	9.7%	11.7%
55-59歳	4.8%	3.3%	4.2%
60-64歳	2.9%	2.4%	2.7%
65-69歳	1.7%	0.6%	1.2%
70-74歳	0.2%	0.3%	0.2%
75歳-	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

性別・年齢階級別加入者数構成割合



	全体	男	女
65歳以上	1.5%	1.9%	0.9%
40-64歳	41.6%	42.4%	40.7%
15-39歳	33.4%	35.2%	31.0%
15歳未満	23.5%	20.6%	27.4%

【令和3年度】

性別・年齢階級別加入者数

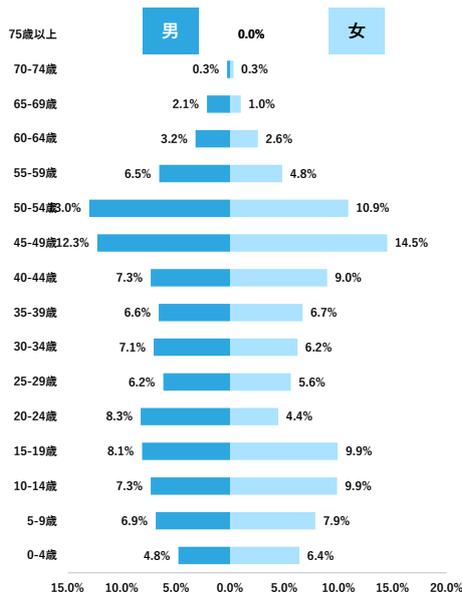
(人)

性別・年齢階級別加入者構成割合

	令和3年度		
	男	女	合計
0-4歳	103	105	208
5-9歳	148	129	277
10-14歳	158	162	320
15-19歳	175	163	338
20-24歳	178	73	251
25-29歳	133	92	225
30-34歳	152	102	254
35-39歳	142	110	252
40-44歳	158	147	305
45-49歳	264	238	502
50-54歳	280	179	459
55-59歳	141	79	220
60-64歳	69	42	111
65-69歳	46	16	62
70-74歳	6	5	11
75歳-	0	0	0
合計	2,153	1,642	3,795

	令和3年度		
	男	女	合計
0-4歳	4.8%	6.4%	5.5%
5-9歳	6.9%	7.9%	7.3%
10-14歳	7.3%	9.9%	8.4%
15-19歳	8.1%	9.9%	8.9%
20-24歳	8.3%	4.4%	6.6%
25-29歳	6.2%	5.6%	5.9%
30-34歳	7.1%	6.2%	6.7%
35-39歳	6.6%	6.7%	6.6%
40-44歳	7.3%	9.0%	8.0%
45-49歳	12.3%	14.5%	13.2%
50-54歳	13.0%	10.9%	12.1%
55-59歳	6.5%	4.8%	5.8%
60-64歳	3.2%	2.6%	2.9%
65-69歳	2.1%	1.0%	1.6%
70-74歳	0.3%	0.3%	0.3%
75歳-	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

性別・年齢階級別加入者数構成割合



	全体	男	女
65歳以上	1.9%	2.4%	1.3%
40-64歳	42.1%	42.4%	41.7%
15-39歳	34.8%	36.2%	32.9%
15歳未満	21.2%	19.0%	24.1%

【令和4年度】

性別・年齢階級別加入者数

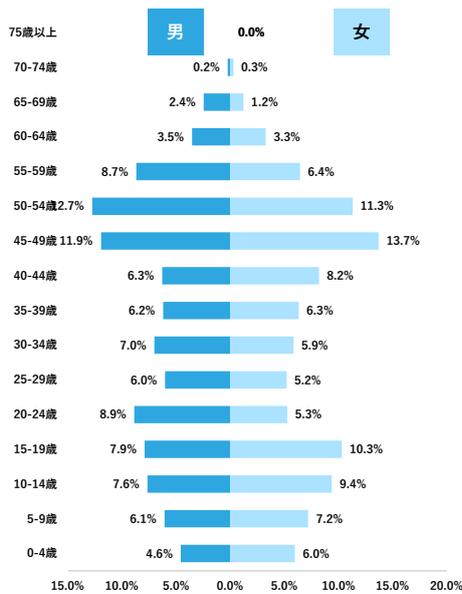
(人)

性別・年齢階級別加入者構成割合

	令和4年度		
	男	女	合計
0-4歳	101	102	203
5-9歳	134	123	257
10-14歳	169	160	329
15-19歳	175	176	351
20-24歳	196	90	286
25-29歳	133	89	222
30-34歳	155	100	255
35-39歳	137	108	245
40-44歳	139	140	279
45-49歳	264	234	498
50-54歳	282	193	475
55-59歳	192	110	302
60-64歳	78	56	134
65-69歳	54	21	75
70-74歳	5	5	10
75歳-	0	0	0
合計	2,214	1,707	3,921

	令和4年度		
	男	女	合計
0-4歳	4.6%	6.0%	5.2%
5-9歳	6.1%	7.2%	6.6%
10-14歳	7.6%	9.4%	8.4%
15-19歳	7.9%	10.3%	9.0%
20-24歳	8.9%	5.3%	7.3%
25-29歳	6.0%	5.2%	5.7%
30-34歳	7.0%	5.9%	6.5%
35-39歳	6.2%	6.3%	6.2%
40-44歳	6.3%	8.2%	7.1%
45-49歳	11.9%	13.7%	12.7%
50-54歳	12.7%	11.3%	12.1%
55-59歳	8.7%	6.4%	7.7%
60-64歳	3.5%	3.3%	3.4%
65-69歳	2.4%	1.2%	1.9%
70-74歳	0.2%	0.3%	0.3%
75歳-	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

性別・年齢階級別加入者数構成割合



	全体	男	女
65歳以上	2.2%	2.7%	1.5%
40-64歳	43.1%	43.1%	42.9%
15-39歳	34.7%	36.0%	33.0%
15歳未満	20.1%	18.2%	22.6%

【全体】 2-1.医療費の経年推移

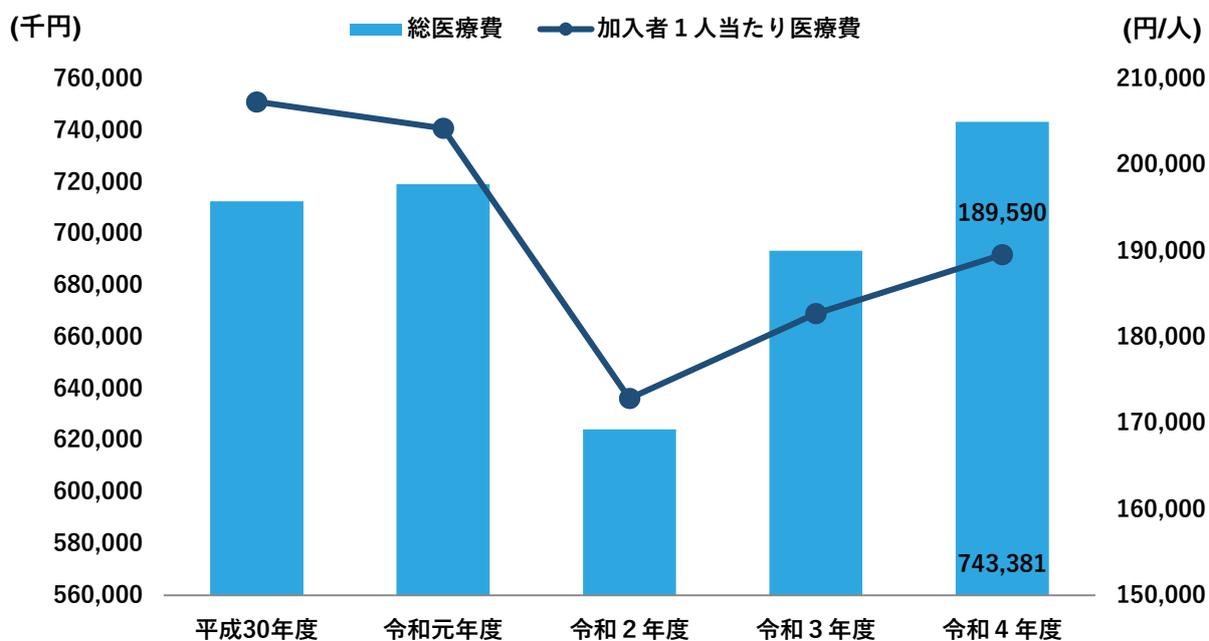
使用データ：レセプトデータ（医科、歯科、調剤、訪問看護）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：平成30年～令和4年度末

総医療費の年度推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総医療費(千円)	712,621	719,239	624,256	693,496	743,381
加入者数(人)	3,437	3,521	3,611	3,795	3,921
加入者1人当たり 医療費(円)	207,338	204,271	172,876	182,739	189,590



【全体】 2-2.性別医療費の経年推移

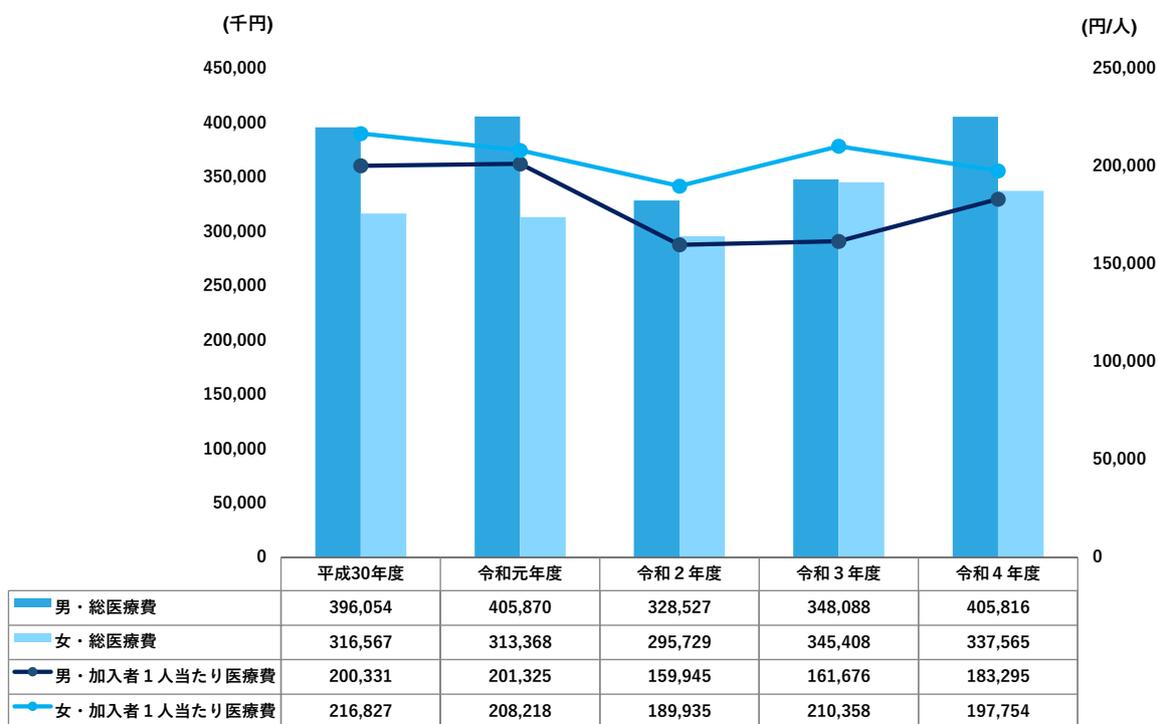
使用データ：レセプトデータ（医科、歯科、調剤、訪問看護）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：平成30年～令和4年度末

性別総医療費の年度推移

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
男	総医療費(千円)	396,054	405,870	328,527	348,088	405,816
	加入者数(人)	1,977	2,016	2,054	2,153	2,214
	加入者1人当たり医療費(円)	200,331	201,325	159,945	161,676	183,295
女	総医療費(千円)	316,567	313,368	295,729	345,408	337,565
	加入者数(人)	1,460	1,505	1,557	1,642	1,707
	加入者1人当たり医療費(円)	216,827	208,218	189,935	210,358	197,754



【全体】 3-1.疾病大分類別・入外別医療費の状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

疾病大分類別・入外別医療費の構成割合

※全体医療費の多い順

順位	疾病大分類		令和4年度					
			全体		入外別			
	コード	略称名	医療費(千円)	構成割合	医療費(円)		構成割合	
					入院	入院外	入院	入院外
1	9	循環器系	94,921	14.6%	21,370,565	73,550,200	22.5%	77.5%
2	10	呼吸器系	74,506	11.5%	7,380,800	67,125,035	9.9%	90.1%
3	3	血液・免疫	59,337	9.1%	1,042,846	58,294,270	1.8%	98.2%
4	2	新生物	56,822	8.7%	18,707,814	38,114,230	32.9%	67.1%
5	4	内分泌・代謝	44,354	6.8%	1,355,022	42,999,070	3.1%	96.9%
6	11	消化器系	38,988	6.0%	14,191,929	24,796,280	36.4%	63.6%
7	12	皮膚	38,339	5.9%	1,226,310	37,113,020	3.2%	96.8%
8	13	筋骨格系	37,282	5.7%	11,835,432	25,446,070	31.7%	68.3%
9	22	特殊目的	30,207	4.7%	3,046,250	27,160,790	10.1%	89.9%
10	7	眼科系	29,402	4.5%	3,846,088	25,556,100	13.1%	86.9%
11	14	腎尿路生殖器系	29,377	4.5%	4,265,176	25,111,870	14.5%	85.5%
12	19	その他の外因	25,691	4.0%	11,809,360	13,881,160	46.0%	54.0%
13	5	精神系	23,995	3.7%	3,688,510	20,306,460	15.4%	84.6%
14	6	神経系	12,916	2.0%	565,598	12,350,430	4.4%	95.6%
15	1	感染症	12,848	2.0%	1,178,230	11,670,205	9.2%	90.8%
16	18	他に分類されない	9,537	1.5%	18,050	9,518,960	0.2%	99.8%
17	16	周産期	6,742	1.0%	6,635,640	106,480	98.4%	1.6%
18	17	先天奇形	6,513	1.0%	4,883,480	1,629,570	75.0%	25.0%
19	8	耳科系	6,175	1.0%	462,850	5,712,230	7.5%	92.5%
20	15	妊娠,分娩	4,268	0.7%	3,670,830	596,670	86.0%	14.0%
21	21	保健サービス	250	0.0%	0	250,070	0.0%	100.0%
22	20	傷病・死因の原因	0	0.0%	0	0	0.0%	0.0%
-	-	その他	7,087	1.1%	194,830	6,892,010	2.7%	97.3%
		全体	649,557	100.0%	121,375,610	528,181,180	18.7%	81.3%

【全体】 3-2.疾病大分類別加入者 1 人当たり医療費の年度推移（上位10位）

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ
 レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療
 加入者データ使用年：平成30年～令和4年度末
 主病を集計（医療費は調剤費を含む）

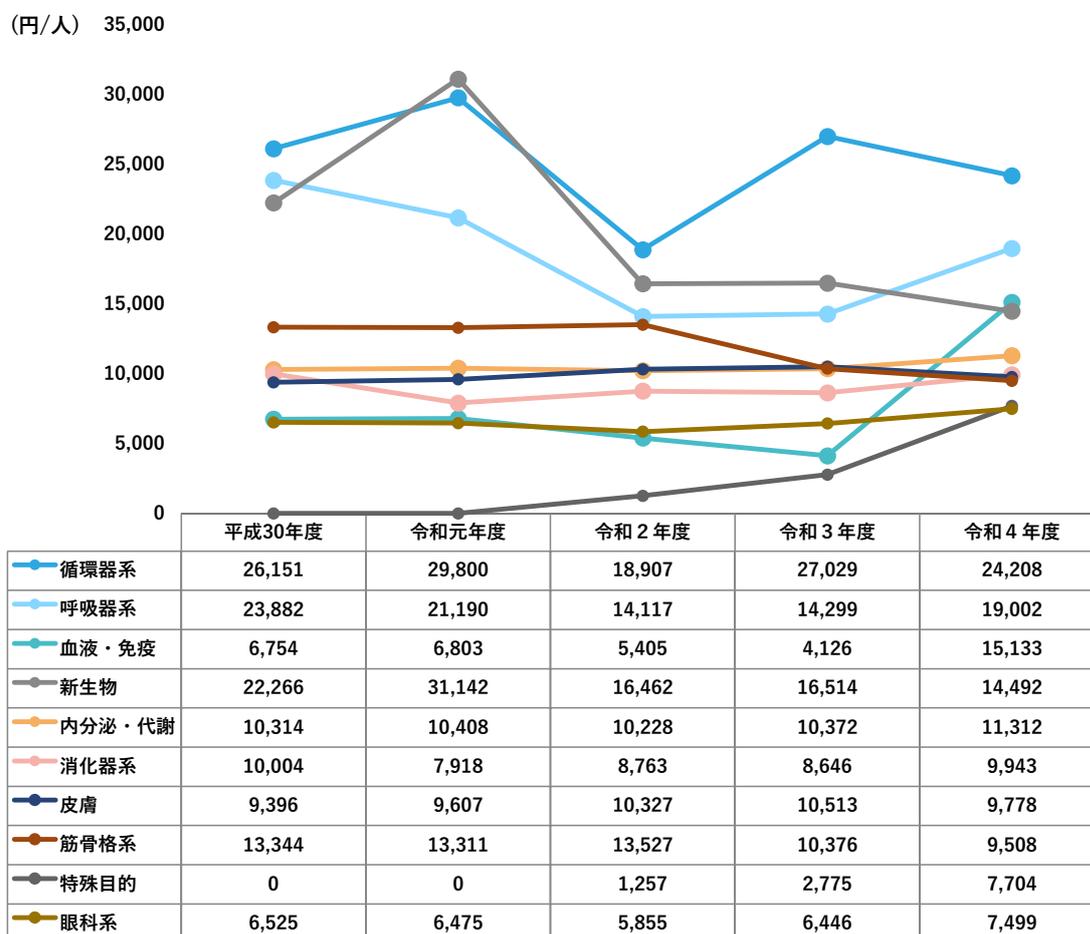
疾病大分類別加入者 1 人当たり医療費（上位10位）

※令和4年度の上位10位を表示

(円)

順位	疾病大分類		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	コード	略称					
1	9	循環器系	26,151	29,800	18,907	27,029	24,208
2	10	呼吸器系	23,882	21,190	14,117	14,299	19,002
3	3	血液・免疫	6,754	6,803	5,405	4,126	15,133
4	2	新生物	22,266	31,142	16,462	16,514	14,492
5	4	内分泌・代謝	10,314	10,408	10,228	10,372	11,312
6	11	消化器系	10,004	7,918	8,763	8,646	9,943
7	12	皮膚	9,396	9,607	10,327	10,513	9,778
8	13	筋骨格系	13,344	13,311	13,527	10,376	9,508
9	22	特殊目的	0	0	1,257	2,775	7,704
10	7	眼科系	6,525	6,475	5,855	6,446	7,499

(円/人)



【全体】 3-3.疾病大分類別・入外別患者数の状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：令和4年度末

主病を集計

疾病大分類別・入外別患者の割合

※全体患者数の多い順

順位	疾病大分類		令和4年度					
			全体		入外別			
	コード	略称名	患者数(人)	患者割合	患者数(人)		患者割合内訳	
					入院	入院外	入院	入院外
1	10	呼吸器系	1,635	41.7%	14	1,634	0.9%	99.9%
2	7	眼科系	1,288	32.8%	8	1,288	0.6%	100.0%
3	12	皮膚	1,098	28.0%	3	1,097	0.3%	99.9%
4	22	特殊目的	985	25.1%	6	982	0.6%	99.7%
5	13	筋骨格系	583	14.9%	8	580	1.4%	99.5%
6	1	感染症	527	13.4%	4	524	0.8%	99.4%
7	19	その他の外因	496	12.6%	19	495	3.8%	99.8%
8	11	消化器系	475	12.1%	22	472	4.6%	99.4%
9	18	他に分類されない	395	10.1%	2	393	0.5%	99.5%
10	14	腎尿路生殖器系	389	9.9%	11	386	2.8%	99.2%
11	9	循環器系	368	9.4%	17	365	4.6%	99.2%
12	4	内分泌・代謝	343	8.7%	4	343	1.2%	100.0%
13	2	新生物	321	8.2%	21	319	6.5%	99.4%
14	8	耳科系	300	7.7%	2	300	0.7%	100.0%
15	5	精神系	232	5.9%	4	231	1.7%	99.6%
16	6	神経系	130	3.3%	3	129	2.3%	99.2%
17	17	先天奇形	59	1.5%	5	59	8.5%	100.0%
18	3	血液・免疫	58	1.5%	4	57	6.9%	98.3%
19	15	妊娠,分娩	33	0.8%	12	27	36.4%	81.8%
20	21	保健サービス	10	0.3%	0	10	0.0%	100.0%
21	16	周産期	9	0.2%	5	6	55.6%	66.7%
22	20	傷病・死因の原因	0	0.0%	0	0	0.0%	0.0%
—	—	その他	16	0.4%	3	15	18.8%	93.8%

【全体】 3-4.疾病大分類別患者 1 人当たり医療費の年度推移（上位10位）

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

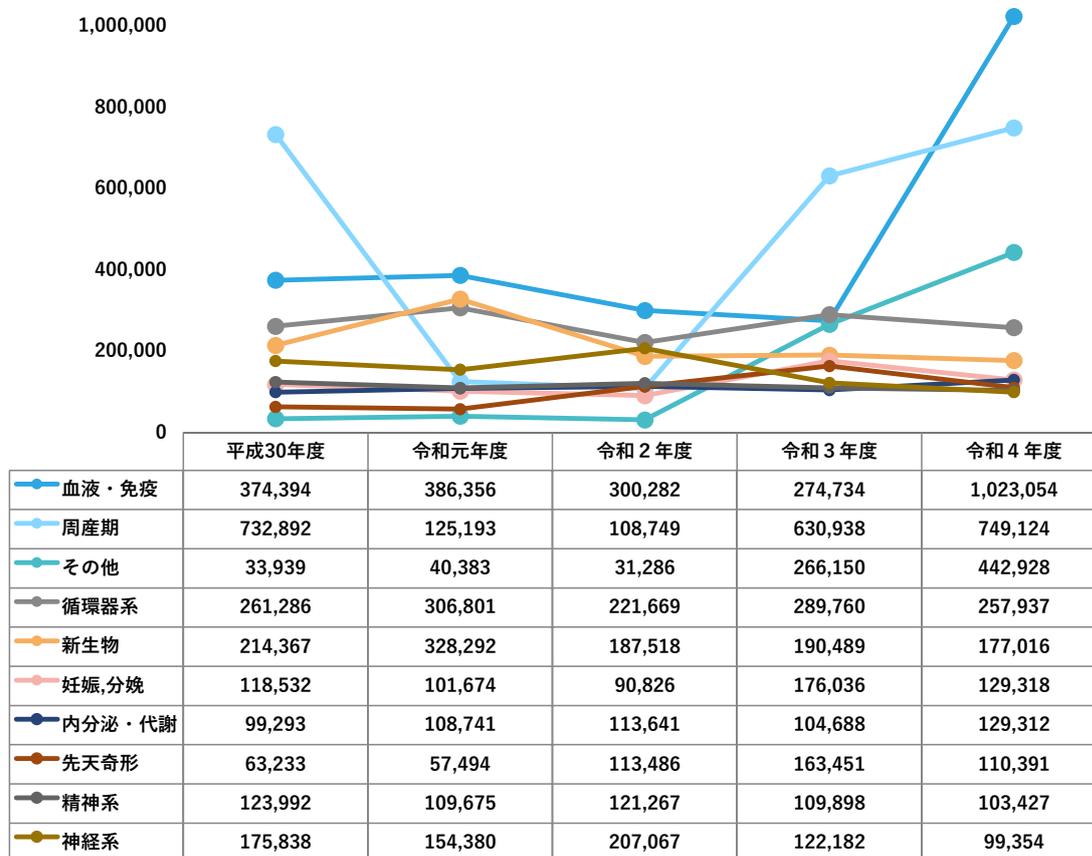
疾病大分類別患者 1 人当たり医療費（上位10位）

※令和4年度の上位10位を表示

(円)

順位	疾病大分類		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	コード	略称					
1	3	血液・免疫	374,394	386,356	300,282	274,734	1,023,054
2	16	周産期	732,892	125,193	108,749	630,938	749,124
3	99	その他	33,939	40,383	31,286	266,150	442,928
4	9	循環器系	261,286	306,801	221,669	289,760	257,937
5	2	新生物	214,367	328,292	187,518	190,489	177,016
6	15	妊娠,分娩	118,532	101,674	90,826	176,036	129,318
7	4	内分泌・代謝	99,293	108,741	113,641	104,688	129,312
8	17	先天奇形	63,233	57,494	113,486	163,451	110,391
9	5	精神系	123,992	109,675	121,267	109,898	103,427
10	6	神経系	175,838	154,380	207,067	122,182	99,354

(円/人)1,200,000



【全体】 3-10.生活習慣病の経年推移

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和4年3月診療

加入者データ使用年：平成30年度末～令和4年度末

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

生活習慣病患者割合の推移

疾患名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
高血圧性疾患	5.99%	5.79%	5.43%	5.96%	5.84%
糖尿病	2.82%	2.78%	2.33%	2.32%	2.22%
脂質異常症	3.14%	2.84%	2.80%	3.50%	2.83%
脳出血	0.20%	0.20%	0.11%	0.21%	0.26%
脳梗塞	0.47%	0.54%	0.42%	0.50%	0.61%
狭心症	0.76%	0.45%	0.36%	0.53%	0.48%
心筋梗塞	0.12%	0.14%	0.03%	0.05%	0.18%
動脈硬化症	0.09%	0.09%	0.00%	0.05%	0.08%
脂肪肝	0.17%	0.26%	0.25%	0.34%	0.28%
高尿酸血症	0.70%	0.62%	0.50%	0.55%	0.84%
慢性腎臓病	0.09%	0.06%	0.06%	0.16%	0.13%

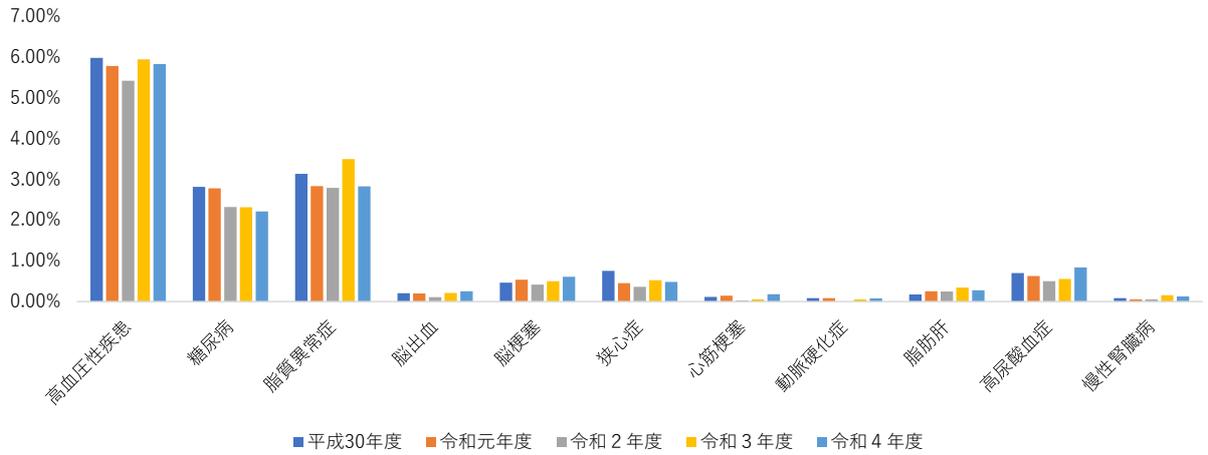
生活習慣病の加入者1人当たり医療費の推移

疾患名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
高血圧性疾患	5,817	5,732	5,413	5,517	5,353
糖尿病	4,097	3,937	3,671	4,406	5,481
脂質異常症	1,897	1,867	2,024	2,253	2,274
脳出血	2,110	527	130	1,991	1,057
脳梗塞	804	4,300	341	2,492	697
狭心症	1,381	1,014	920	1,245	1,481
心筋梗塞	564	36	10	454	536
動脈硬化症	11	23	0	11	9
脂肪肝	61	103	105	64	75
高尿酸血症	307	301	242	302	341
慢性腎臓病	70	74	70	74	199

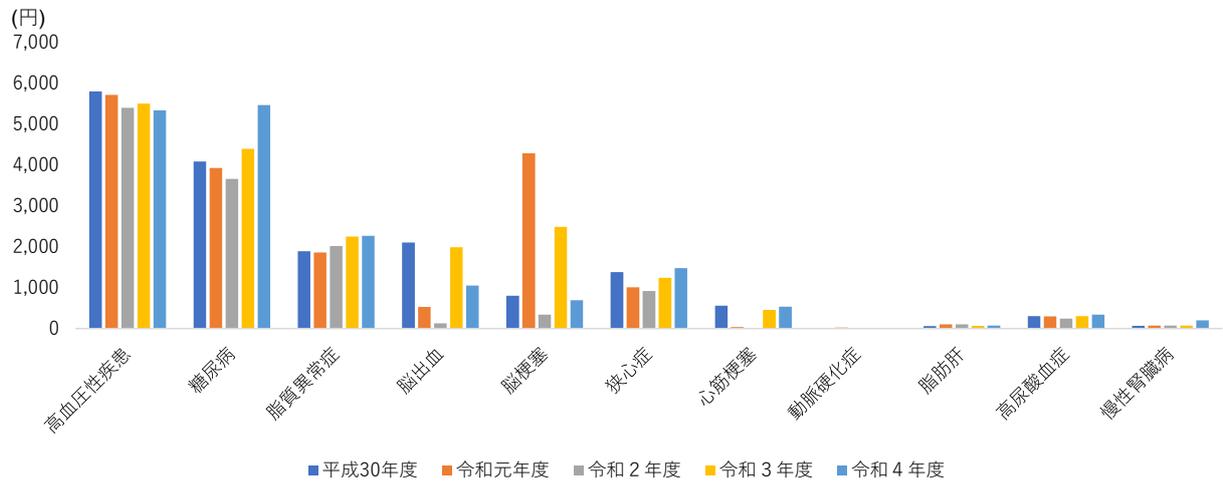
生活習慣病の患者1人当たり医療費の推移

疾患名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
高血圧性疾患	97,049	98,931	99,719	92,648	91,655
糖尿病	145,163	141,445	157,830	190,030	247,008
脂質異常症	60,378	65,731	72,365	64,279	80,341
脳出血	1,036,041	265,297	116,913	944,483	414,557
脳梗塞	172,701	796,776	82,148	497,683	113,827
狭心症	182,521	223,248	255,507	236,145	305,728
心筋梗塞	484,226	25,438	36,350	861,645	300,373
動脈硬化症	12,137	27,307	0	21,790	11,853
脂肪肝	35,023	40,199	42,102	18,751	26,583
高尿酸血症	43,965	48,180	48,571	54,614	40,531
慢性腎臓病	80,013	130,085	127,075	46,703	156,183

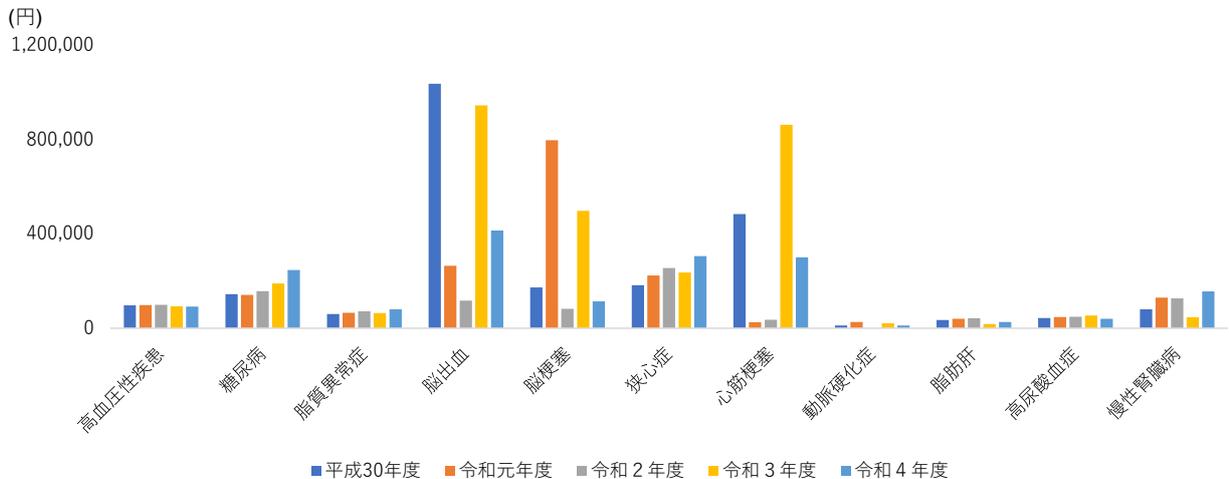
生活習慣病患者割合の推移



生活習慣病の加入者一人当たり医療費の推移



生活習慣病の患者一人当たり医療費の推移



【全体】3-15.がんの経年推移

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

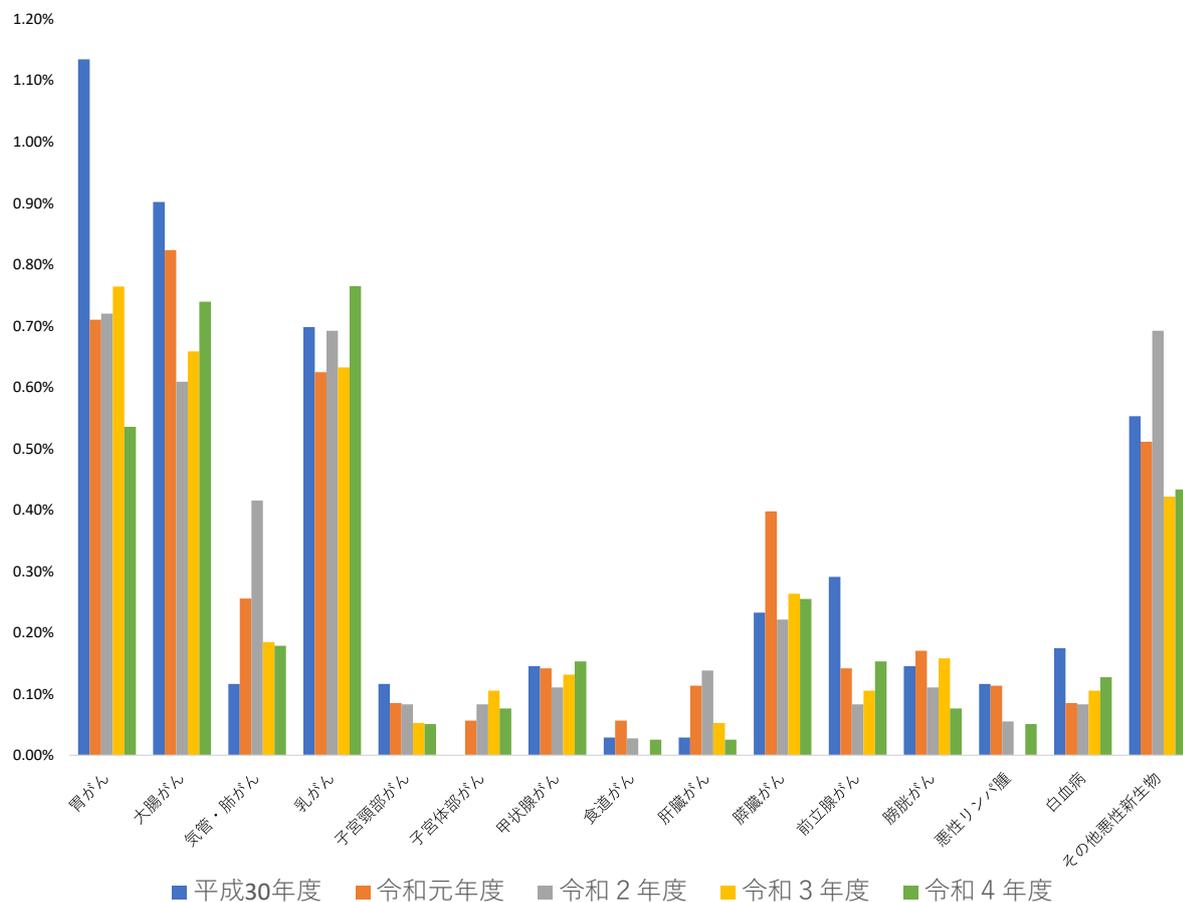
レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和4年3月診療

加入者データ使用年：平成30年度末～令和4年度末

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

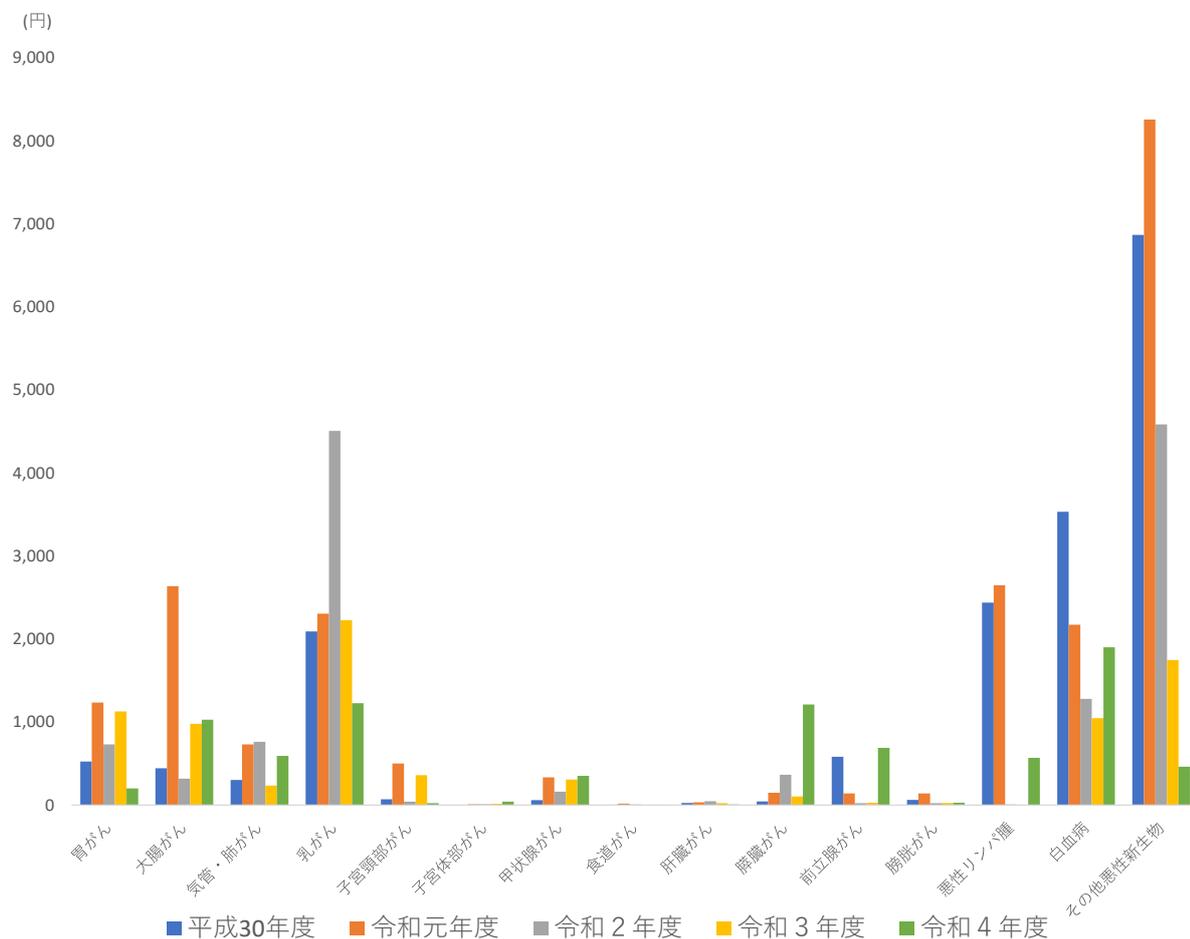
患者割合

疾患名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
胃がん	1.13%	0.71%	0.72%	0.76%	0.54%
大腸がん	0.90%	0.82%	0.61%	0.66%	0.74%
気管・肺がん	0.12%	0.26%	0.42%	0.18%	0.18%
乳がん	0.70%	0.62%	0.69%	0.63%	0.77%
子宮頸部がん	0.12%	0.09%	0.08%	0.05%	0.05%
子宮体部がん	0.00%	0.06%	0.08%	0.11%	0.08%
甲状腺がん	0.15%	0.14%	0.11%	0.13%	0.15%
食道がん	0.03%	0.06%	0.03%	0.00%	0.03%
肝臓がん	0.03%	0.11%	0.14%	0.05%	0.03%
膵臓がん	0.23%	0.40%	0.22%	0.26%	0.26%
前立腺がん	0.29%	0.14%	0.08%	0.11%	0.15%
膀胱がん	0.15%	0.17%	0.11%	0.16%	0.08%
悪性リンパ腫	0.12%	0.11%	0.06%	0.00%	0.05%
白血病	0.17%	0.09%	0.08%	0.11%	0.13%
その他悪性新生物	0.55%	0.51%	0.69%	0.42%	0.43%



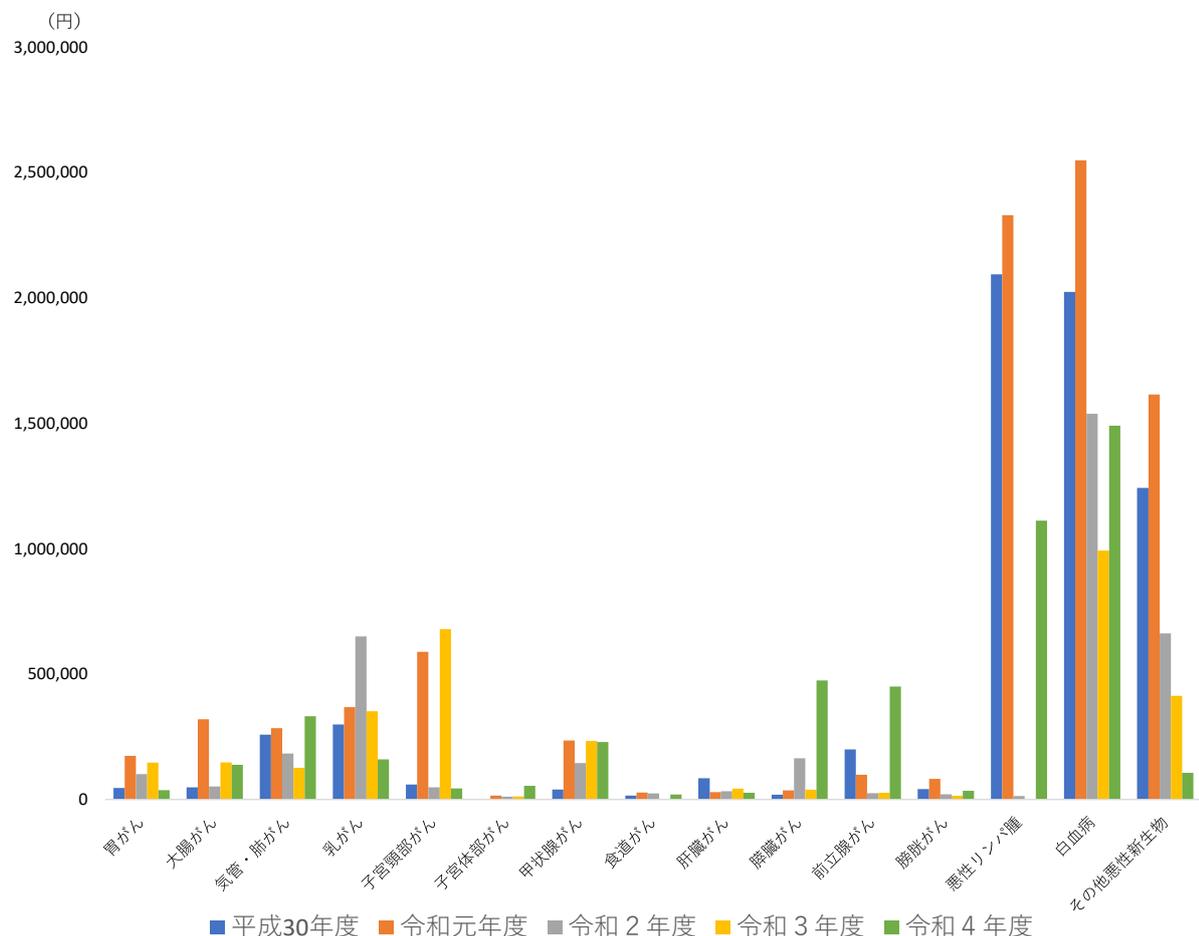
加入者1人当たり医療費の推移

疾患名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
胃がん	524	1,234	731	1,127	200
大腸がん	443	2,638	318	978	1,029
気管・肺がん	301	729	762	233	593
乳がん	2,090	2,304	4,507	2,227	1,226
子宮頸部がん	70	502	40	358	23
子宮体部がん	0	9	10	13	42
甲状腺がん	59	334	162	308	351
食道がん	5	16	7	0	5
肝臓がん	25	34	46	23	7
膵臓がん	45	148	364	104	1,212
前立腺がん	581	141	21	29	690
膀胱がん	61	141	24	25	27
悪性リンパ腫	2,438	2,648	8	0	567
白血病	3,533	2,172	1,278	1,047	1,902
その他悪性新生物	6,869	8,260	4,586	1,746	461



患者 1 人当たり医療費の推移

疾患名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
胃がん	46,165	173,801	101,470	147,510	37,260
大腸がん	49,124	320,269	52,133	148,495	139,135
気管・肺がん	258,630	285,254	183,483	126,276	332,259
乳がん	299,365	368,825	651,011	352,210	160,271
子宮頸部がん	59,915	588,893	48,623	680,025	44,465
子宮体部がん	0	15,710	11,897	12,775	54,700
甲状腺がん	40,464	235,244	146,088	233,742	229,532
食道がん	16,200	28,165	24,900	0	20,100
肝臓がん	84,770	29,668	32,870	43,255	27,300
膵臓がん	19,174	37,123	164,357	39,473	475,351
前立腺がん	199,750	99,092	25,710	27,258	450,800
膀胱がん	41,838	82,487	21,443	15,497	35,150
悪性リンパ腫	2,094,852	2,330,925	14,285	0	1,111,975
白血病	2,024,100	2,549,293	1,538,163	992,913	1,491,420
その他悪性新生物	1,242,493	1,615,805	662,440	414,026	106,399



【全体】 3-18.性別精神疾患の状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：令和4年度末

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

精神疾患の状況

全体

疾病名	加入者数 3,921人 総医療費 649,557千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	9,286	1.4%	2,368	86	107,977	2.2%
うつ病	7,561	1.2%	1,928	66	114,557	1.7%
統合失調症	2,179	0.3%	556	13	167,615	0.3%
認知症	26	0.0%	7	1	26,180	0.0%
その他の精神及び行動の障害	4,943	0.8%	1,261	77	64,195	2.0%

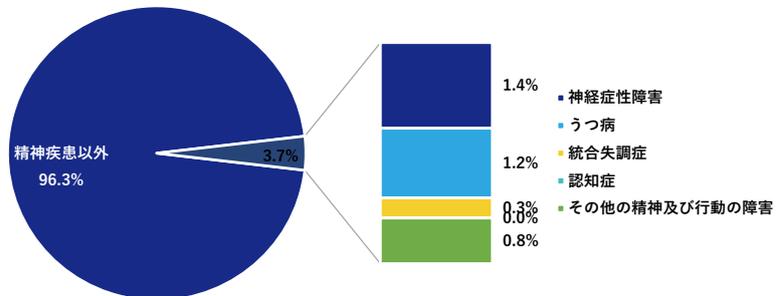
男

疾病名	加入者数 2,214人 総医療費 358,722千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	5,736	1.6%	2,591	35	163,888	1.6%
うつ病	3,569	1.0%	1,612	36	99,145	1.6%
統合失調症	576	0.2%	260	4	143,913	0.2%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	2,993	0.8%	1,352	54	55,433	2.4%

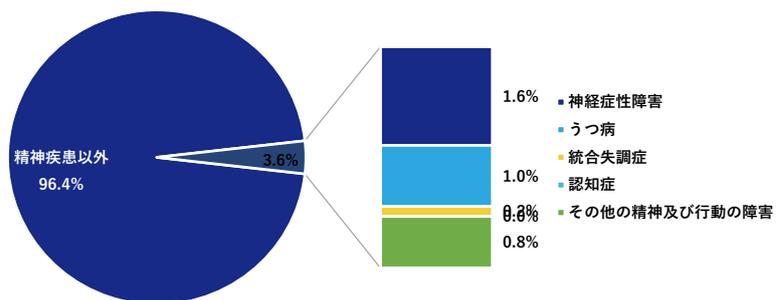
女

疾病名	加入者数 1,707人 総医療費 290,834千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	3,550	1.2%	2,080	51	69,606	3.0%
うつ病	3,992	1.4%	2,338	30	133,052	1.8%
統合失調症	1,603	0.6%	939	9	178,149	0.5%
認知症	26	0.0%	15	1	26,180	0.1%
その他の精神及び行動の障害	1,950	0.7%	1,142	23	84,767	1.3%

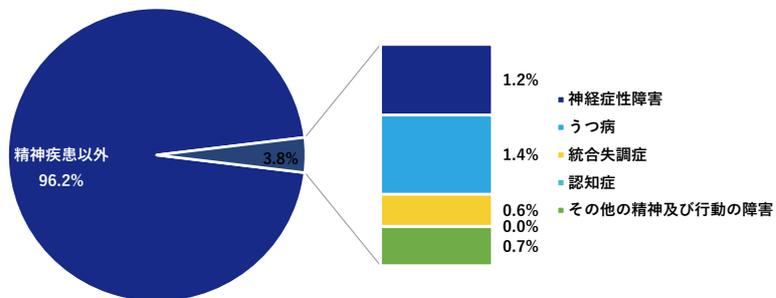
総医療費にみる精神疾患の医療費割合
全体



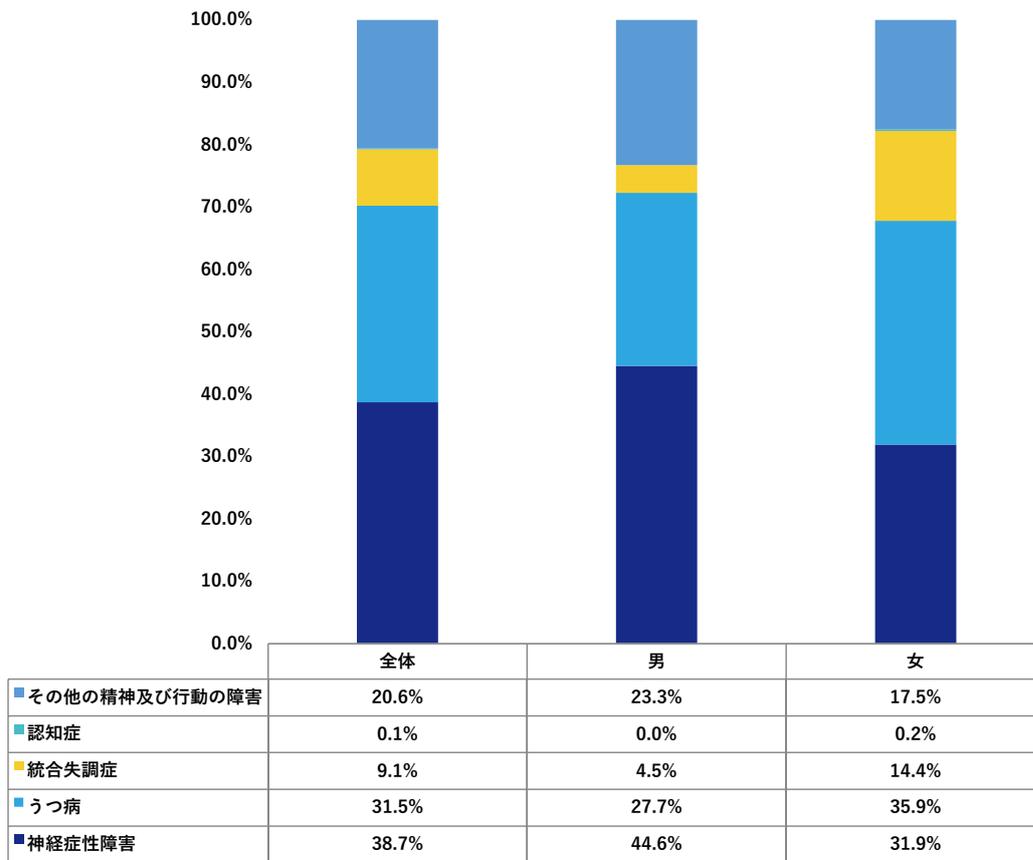
男



女

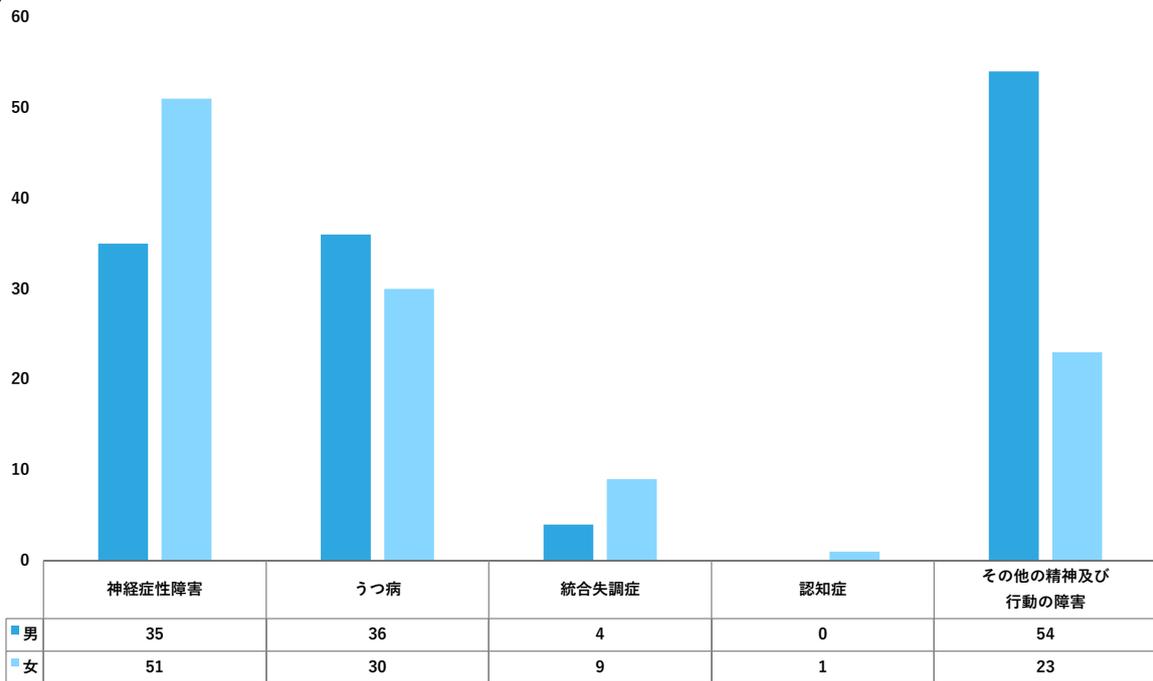


精神疾患の医療費割合

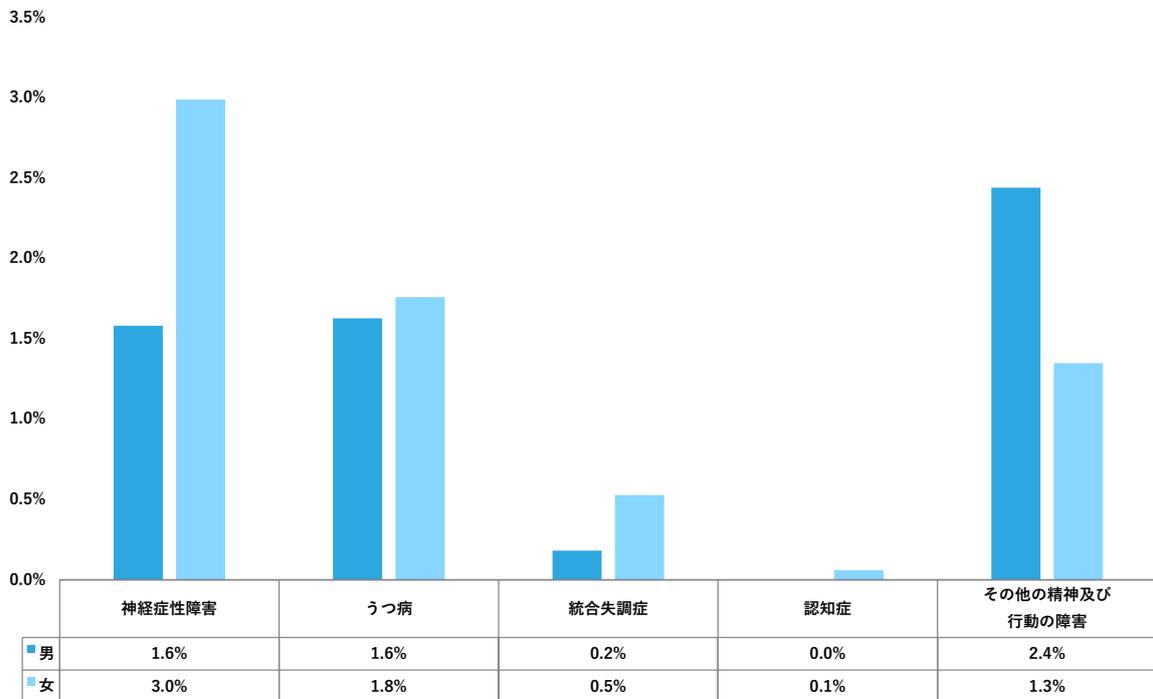


患者数

(人)

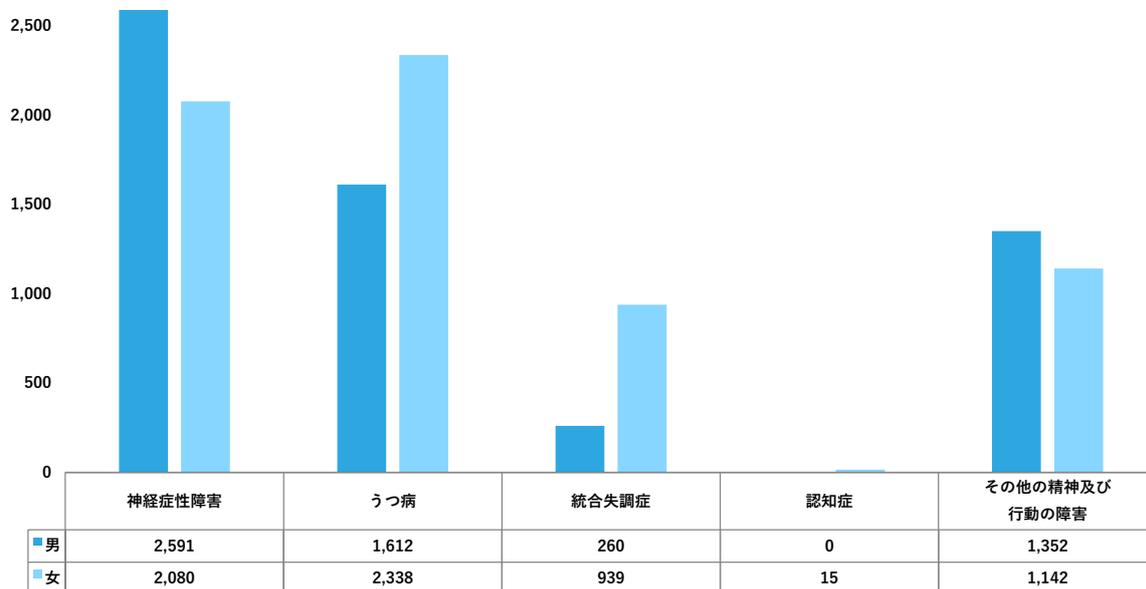


患者割合



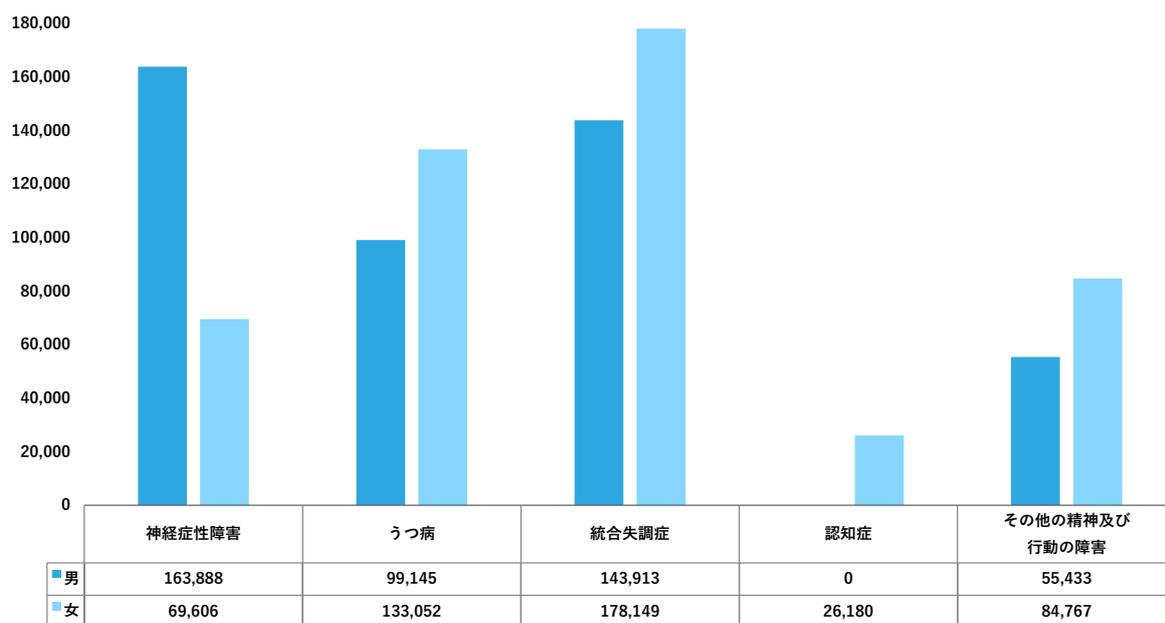
加入者 1 人当たり医療費

(円/人)
3,000



患者 1 人当たり医療費

(円/人)
200,000



【全体】 4-5.歯周病患者における生活習慣病の併発状況

使用データ：レセプトデータ（医科、歯科）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

全傷病を集計

歯周病患者の生活習慣病併発状況

(人)

	全体	
	患者数	患者割合
高血圧性疾患	213	10.6%
糖尿病	106	5.3%
脂質異常症	207	10.3%
脳出血	4	0.2%
脳梗塞	18	0.9%
狭心症	26	1.3%
心筋梗塞	3	0.1%
動脈硬化症	19	0.9%
脂肪肝	31	1.5%
高尿酸血症および痛風	81	4.0%
慢性腎臓病	7	0.3%
生活習慣病なし	1,666	82.6%
歯周病患者全体	2,018	—

(人)

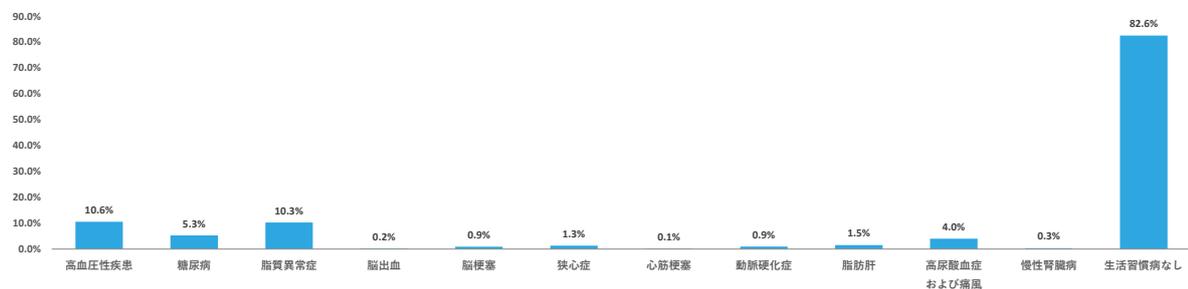
	男	
	患者数	患者割合
高血圧性疾患	147	14.5%
糖尿病	77	7.6%
脂質異常症	135	13.3%
脳出血	3	0.3%
脳梗塞	12	1.2%
狭心症	22	2.2%
心筋梗塞	3	0.3%
動脈硬化症	12	1.2%
脂肪肝	24	2.4%
高尿酸血症および痛風	75	7.4%
慢性腎臓病	6	0.6%
生活習慣病なし	790	77.9%
歯周病患者全体	1,014	—

(人)

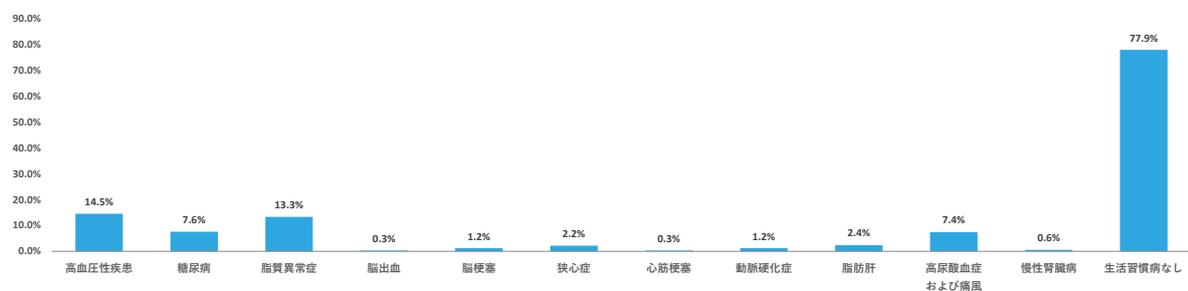
	女	
	患者数	患者割合
高血圧性疾患	66	6.6%
糖尿病	29	2.9%
脂質異常症	72	7.2%
脳出血	1	0.1%
脳梗塞	6	0.6%
狭心症	4	0.4%
心筋梗塞	0	0.0%
動脈硬化症	7	0.7%
脂肪肝	7	0.7%
高尿酸血症および痛風	6	0.6%
慢性腎臓病	1	0.1%
生活習慣病なし	876	87.3%
歯周病患者全体	1,004	—

歯周病患者の生活習慣病併発患者割合

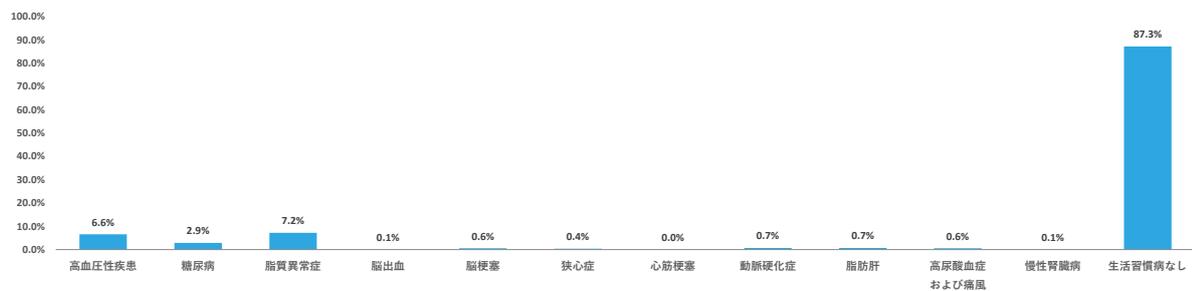
全体



男



女



【全体】5-1.性別特定健診受診率

使用データ：加入者データ、健診データ

加入者データ使用年：平成30年～令和4年度末

健診データ使用年：平成30年～令和4年度

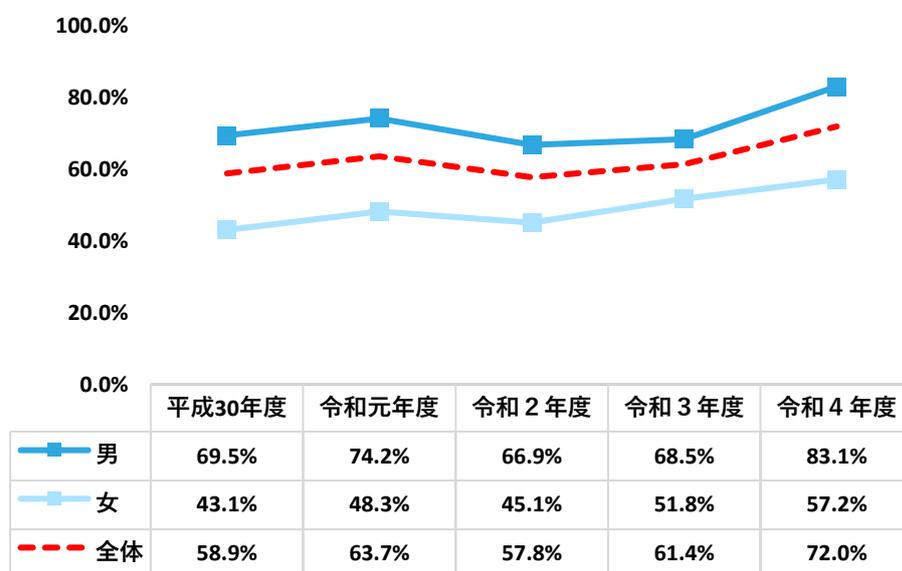
性別特定健診受診状況

(人)

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数
全体	1,445	851	1,514	964	1,556	900	1,670	1,026	1,773	1,277
男	863	600	897	666	909	608	964	660	1,014	843
女	582	251	617	298	647	292	706	366	759	434

性別特定健診受診率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全体	58.9%	63.7%	57.8%	61.4%	72.0%
男	69.5%	74.2%	66.9%	68.5%	83.1%
女	43.1%	48.3%	45.1%	51.8%	57.2%



【全体】 5-6.医療機関への受診勧奨対象者における医療機関受診率

使用データ：健診データ、レセプトデータ

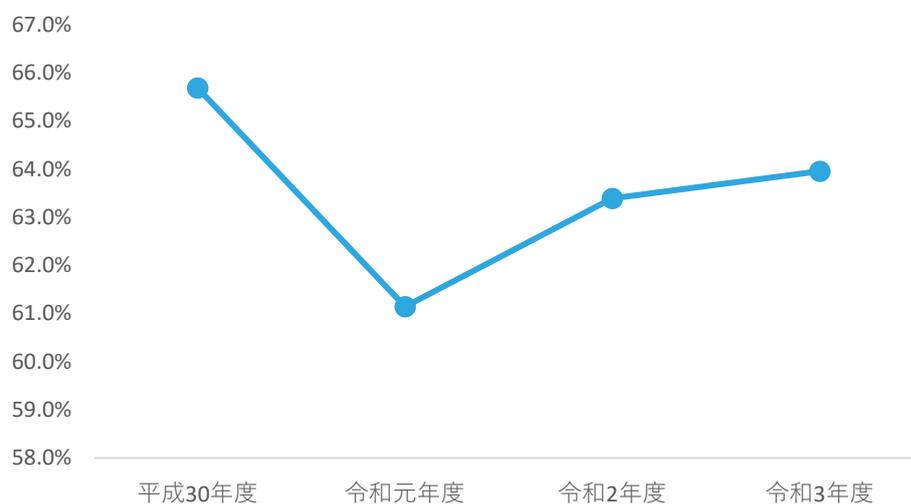
健診データ使用年月：平成30年度～令和4年度

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和4年3月度診療

医療機関への受診勧奨基準において速やかに受診を要する者の医療機関受診率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受診勧奨対象者数(人)	169	175	183	172
医療機関受診者数(人)	111	107	116	110
医療機関受診率	65.7%	61.1%	63.4%	64.0%

医療機関受診率の年度推移



【全体】 5-12.生活習慣リスク保有率

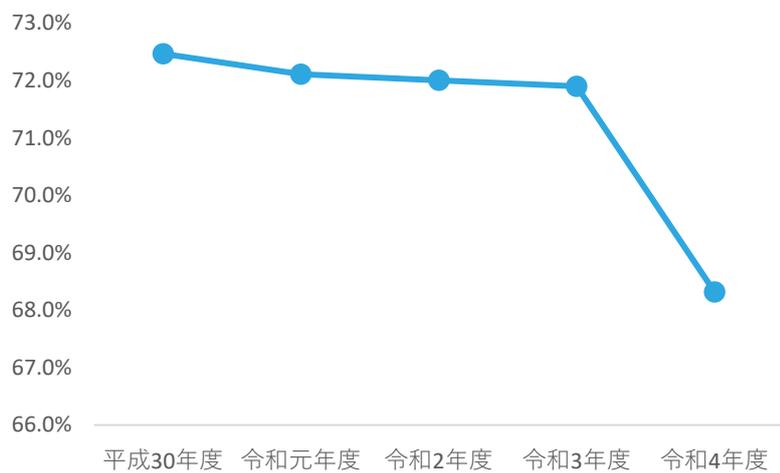
使用データ：健診データ

健診データ使用年月：平成30年度～令和4年度

運動習慣のリスク保有率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
回答者数(人)	1,115	1,194	1,118	1,210	1,370
該当者数(人)	808	861	805	870	936
該当率	72.5%	72.1%	72.0%	71.9%	68.3%

運動習慣リスク



食事習慣のリスク保有率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
回答者数(人)	0	0	0	0	0
該当者数(人)	0	0	0	0	0
該当率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

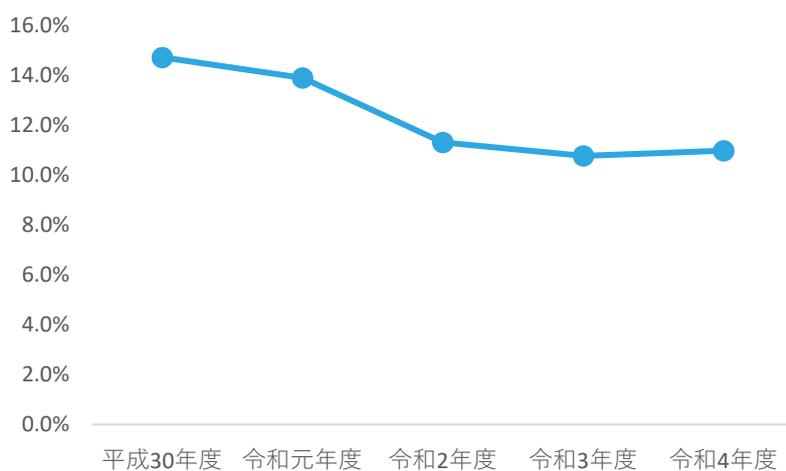
食事習慣リスク



飲酒習慣のリスク保有率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
回答者数(人)	1,032	1,115	1,105	1,197	1,356
該当者数(人)	152	155	125	129	149
該当率	14.7%	13.9%	11.3%	10.8%	11.0%

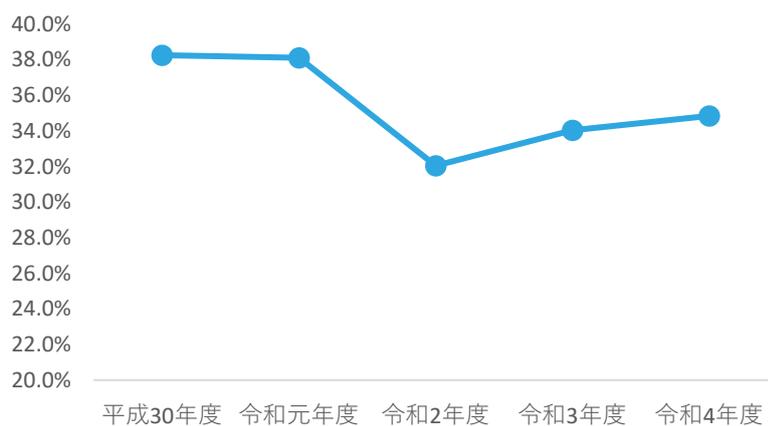
飲酒習慣リスク



睡眠習慣のリスク保有率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
回答者数(人)	1,116	1,194	1,117	1,210	1,369
該当者数(人)	427	455	358	412	477
該当率	38.3%	38.1%	32.1%	34.0%	34.8%

睡眠習慣リスク



喫煙率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
回答者数(人)	1,172	1,256	1,123	1,213	1,437
該当者数(人)	313	326	255	221	285
該当率	26.7%	26.0%	22.7%	18.2%	19.8%

喫煙



【全体】 5-16.CKD重症度分類別人数

使用データ：健診データ

健診データ使用年：令和4年度

受診者は、eGFRと尿蛋白の検査項目がある者

受診者数

(人)

受診者全体
529

リスク分類

(人)

eGFR区分(mL/分/1.73m ²)			尿蛋白(-)		尿蛋白(±)		尿蛋白(1+)		尿蛋白(2+)		尿蛋白(3+)以上	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
G1	正常または高値	≧90	37	7.0%	3	0.6%	2	0.4%				
G2	正常または軽度低下	60~89	374	70.7%	34	6.4%	9	1.7%	2	0.4%		
G3a	軽度~中等度低下	45~59	55	10.4%	7	1.3%	1	0.2%	3	0.6%		
G3b	中等度~高度低下	30~44	1	0.2%								
G4	高度低下	15~29										
G5	末期腎不全	<15							1	0.2%		

リスク分類状況

(人)

CKDステージ	対象者	割合
ステージ1or2	448	84.7%
ステージ3	73	13.8%
ステージ4	4	0.8%
ステージ5	4	0.8%
全体	529	100.0%

【全体】5-17.糖尿病性腎症対象者の状況

使用データ：レセプトデータ（医科）、健診データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

健診データ使用年：令和3年～令和4年度

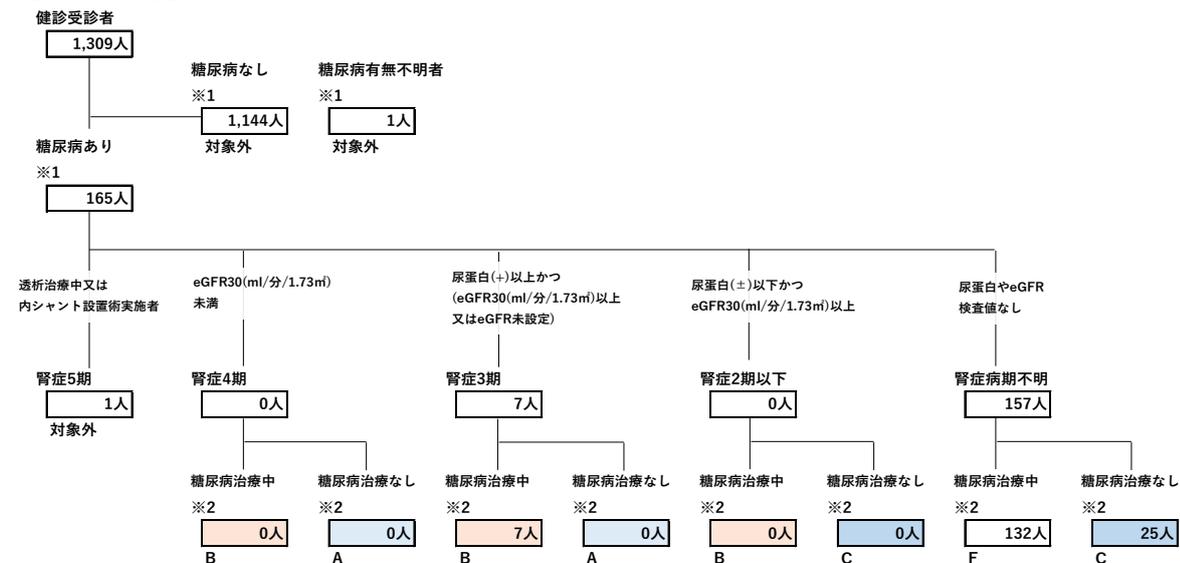
健診受診者：年度末時点で資格保有の健診情報のみ対象とする

糖尿病性腎症対象者の状況

●対象者抽出の考え方

レセプトなし	健診受診者 レセプトなし	健診未受診者 レセプトなし
	C 糖尿病基準該当 + 受診なし 25人 A 糖尿病性腎症 + 受診なし 0人	E 過去に糖尿病治療歴あり 現在治療中断 ※4 9人
レセプトあり	健診受診者 レセプトあり	健診未受診者 レセプトあり
	B 糖尿病性腎症 + 受診あり 7人 F 腎症不明 + 糖尿病基準該当 + 受診あり 132人	D 糖尿病治療中 ※3 37人
	健診受診	健診未受診

●健診受診者からの把握（A・B・C）



※1…糖尿病ありの定義：空腹時血糖126mg/dl以上またはHbA1c6.5%以上、または、糖尿病治療中、過去に糖尿病治療歴あり

※2…糖尿病治療中の定義：当年度に糖尿病治療あり

●健診未受診、レセプトデータからの把握（D、E）

健診未受診者のうち、レセプトに糖尿病病名あるいは糖尿病性腎症病名があるもの

※3

37人

D

健診未受診者のうち、過去のレセプトに糖尿病病名あるいは糖尿病性腎症病名があるもの

※4

9人

E

※3…当年度に糖尿病（レセ表記 糖尿病：E10～E14）と判定されたレセプトが存在する

※4…当年度に糖尿病（レセ表記 糖尿病：E10～E14）と判定されたレセプトが存在しない かつ前年度に糖尿病（レセ表記 糖尿病：E10～E14）と判定されたレセプトが存在する

【全体】 6-1.特定保健指導対象者割合

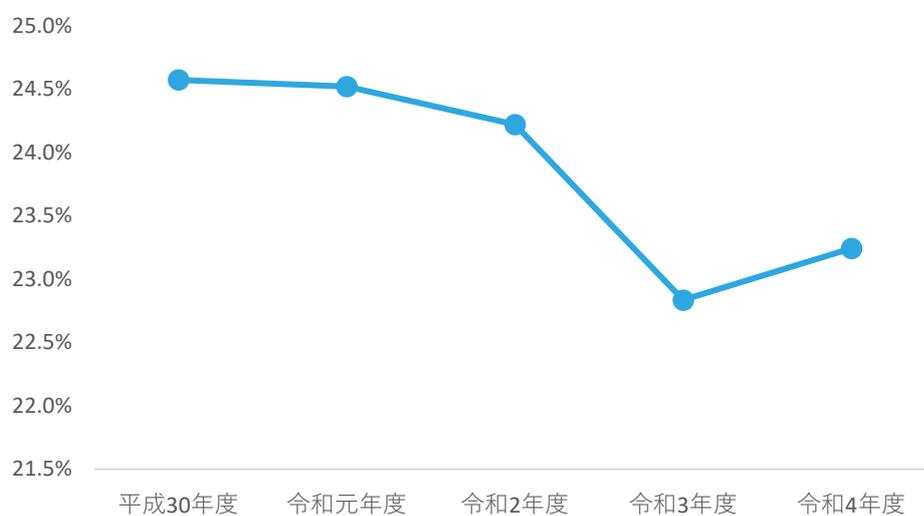
使用データ：健診データ

健診データ使用年月：平成30年～令和4年度

特定保健指導対象者割合

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特定健康診査受診者数(人)	1,172	1,256	1,123	1,213	1,437
特定保健指導対象者数(人)	288	308	272	277	334
特定保健指導対象者割合	24.6%	24.5%	24.2%	22.8%	23.2%

特定保健指導対象者割合の年度推移



【全体】6-2.性別特定保健指導終了率

使用データ：健診データ、保健指導データ

健診データ使用年：平成30年～令和4年度

保健指導データ使用年：平成30年～令和4年度

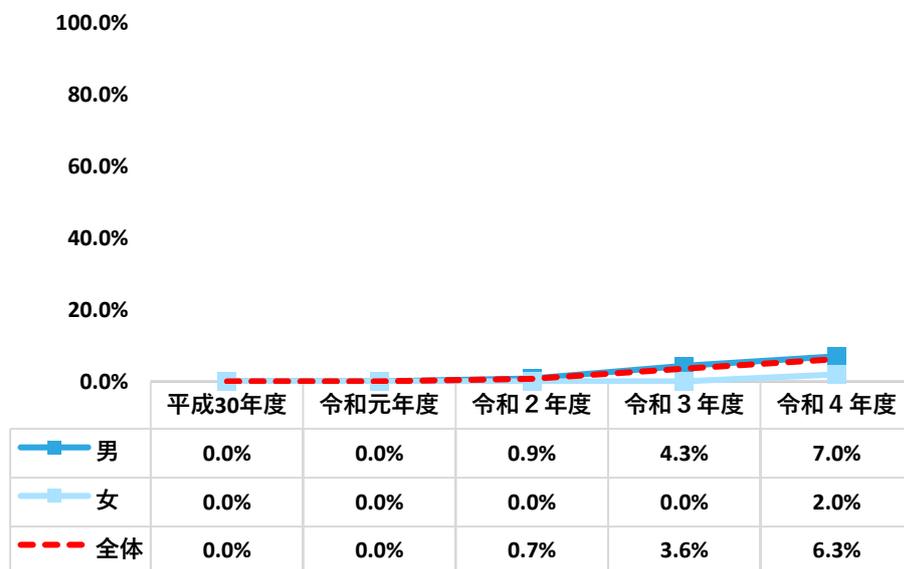
性別特定保健指導終了状況

(人)

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	対象者数	終了者数	対象者数	終了者数	対象者数	終了者数	対象者数	終了者数	対象者数	終了者数
全体	288	0	308	0	272	2	277	10	334	21
男	253	0	265	0	232	2	230	10	284	20
女	35	0	43	0	40	0	47	0	50	1

性別特定保健指導終了率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全体	0.0%	0.0%	0.7%	3.6%	6.3%
男	0.0%	0.0%	0.9%	4.3%	7.0%
女	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%



【全体】 6-4.特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率

使用データ：健診データ、保健指導データ

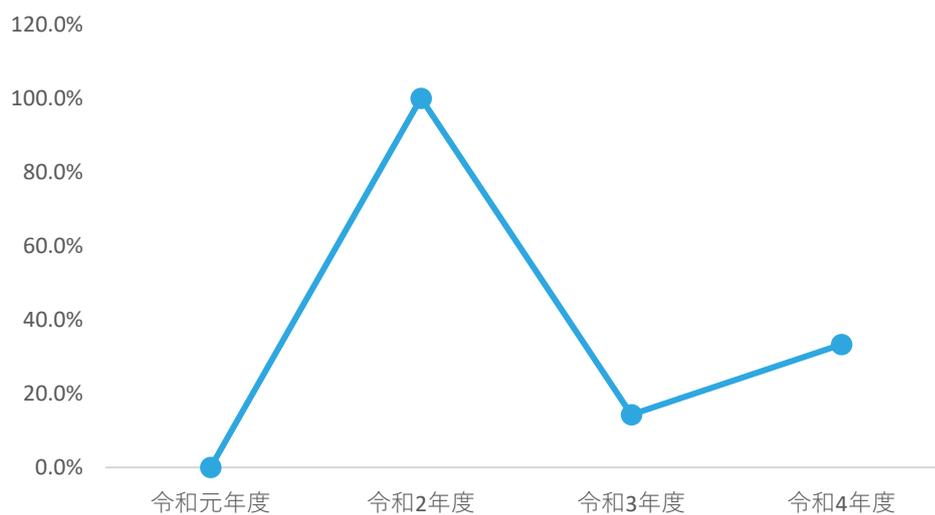
健診データ使用年月：令和元年～令和4年度

保健指導データ使用年月：平成30年～令和3年度

特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
前年度 特定保健指導利用者数(人)	0	1	7	21
当年度 特定保健指導対象外者数(人)	0	1	1	7
特定保健指導対象者の減少率	0.0%	100.0%	14.3%	33.3%

特定保健指導対象者減少率の年度推移



【全体】 7-1.後発医薬品使用率の経年推移

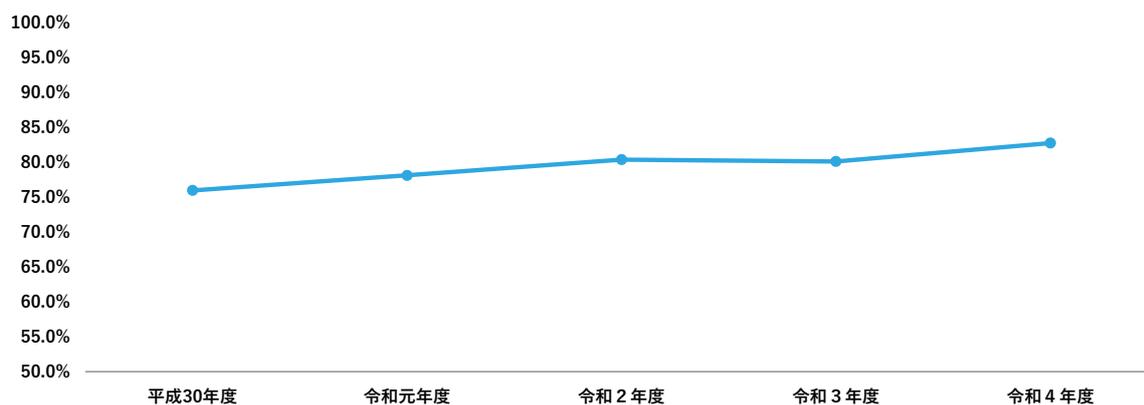
使用データ：レセプトデータ（医科、歯科、調剤）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

数量ベース後発医薬品使用率

	医科	歯科	調剤	全体
平成30年度	64.8%	48.8%	79.1%	76.0%
令和元年度	64.2%	31.9%	82.0%	78.1%
令和2年度	68.0%	62.2%	83.3%	80.4%
令和3年度	66.7%	69.8%	83.2%	80.1%
令和4年度	69.6%	63.2%	85.5%	82.8%

数量ベース後発医薬品使用率の経年推移（全体）



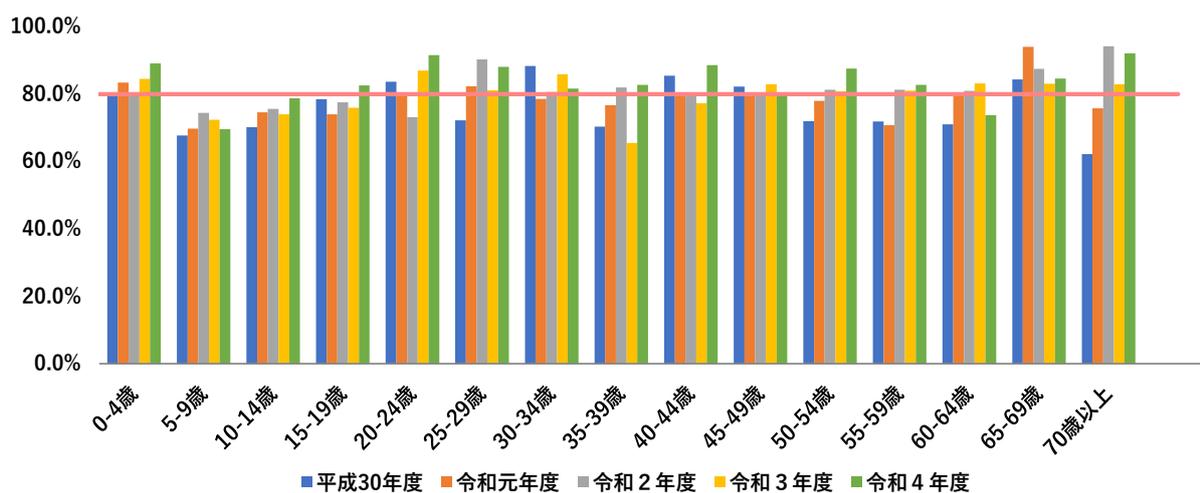
【全体】 7-2.年齢階級別後発医薬品使用率の経年推移

使用データ：レセプトデータ（医科、歯科、調剤）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

年齢階級別後発医薬品使用率の経年推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
0-4歳	80.4%	83.4%	79.8%	84.5%	89.1%
5-9歳	67.7%	69.8%	74.5%	72.4%	69.6%
10-14歳	70.2%	74.6%	75.7%	74.0%	78.8%
15-19歳	78.5%	74.0%	77.6%	76.0%	82.6%
20-24歳	83.7%	79.5%	73.2%	87.0%	91.6%
25-29歳	72.3%	82.3%	90.4%	81.2%	88.1%
30-34歳	88.4%	78.6%	80.7%	85.9%	81.7%
35-39歳	70.4%	76.7%	82.0%	65.5%	82.7%
40-44歳	85.5%	79.5%	80.1%	77.3%	88.6%
45-49歳	82.3%	79.5%	79.6%	83.0%	80.4%
50-54歳	72.0%	78.0%	81.3%	80.9%	87.6%
55-59歳	71.9%	70.8%	81.3%	81.0%	82.8%
60-64歳	71.1%	80.6%	81.0%	83.2%	73.7%
65-69歳	84.4%	94.0%	87.5%	83.1%	84.7%
70歳以上	62.3%	75.8%	94.3%	82.9%	92.1%
全年齢	76.0%	78.1%	80.4%	80.1%	82.8%



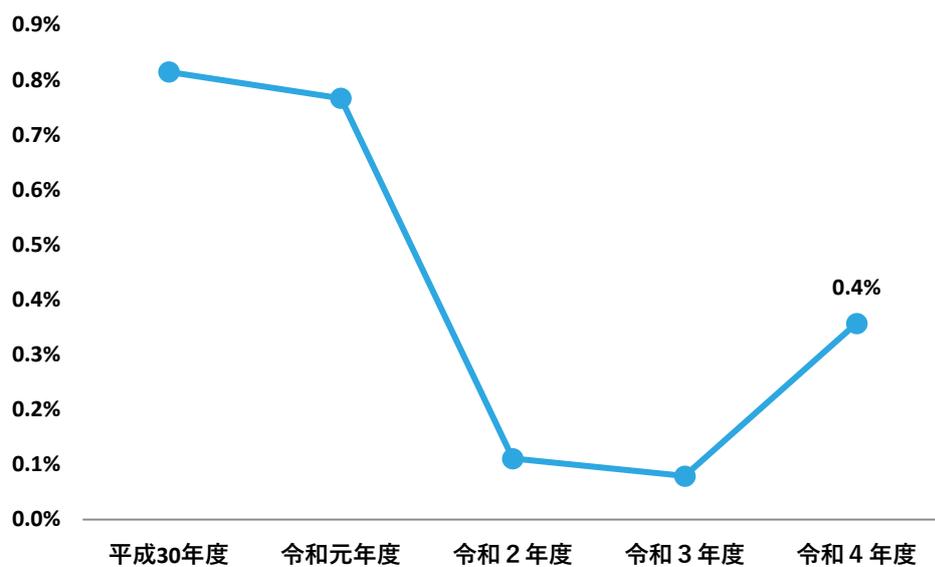
【全体】 7-8.重複服薬の経年推移

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

重複投薬状況の推移

	加入者数 (人)	重複投薬者数 (人)	重複投薬 割合	重複投薬 レセプト件数 (件)
平成30年度	3,437	28	0.8%	39
令和元年度	3,521	27	0.8%	37
令和2年度	3,611	4	0.1%	5
令和3年度	3,795	3	0.1%	3
令和4年度	3,921	14	0.4%	18



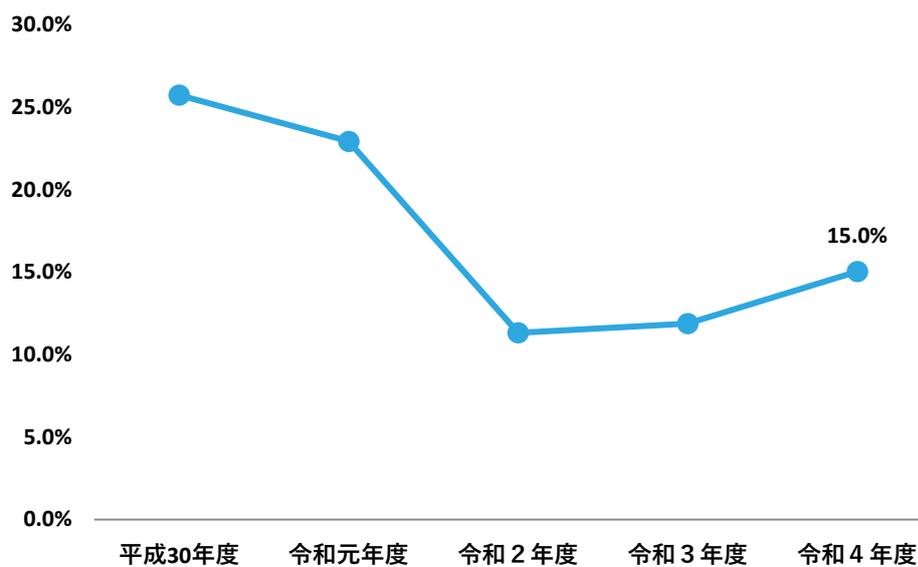
【全体】 7-10.多剤服薬の経年推移（6種）

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

多剤投薬状況の推移

	加入者数 (人)	多剤投薬者数 (人)	多剤投薬 割合
平成30年度	3,437	885	25.7%
令和元年度	3,521	808	22.9%
令和2年度	3,611	409	11.3%
令和3年度	3,795	451	11.9%
令和4年度	3,921	590	15.0%



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ウ, エ	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢（特に50代以降）に伴う疾病発症、重症化による医療費の増加 ・仕事と治療の両立 ・被扶養者が病気になることで起こる仕事と看護の両立 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診やがん検診の利用を促進する。 ・疾病の早期発見、早期治療の必要性の啓発を行う。 ・加入者への医療費増加の情報提供と適正受診・後発医薬品使用の推進 	✓
2	オ, カ, キ, ク	<ul style="list-style-type: none"> ・がん、生活習慣病、呼吸器系への取組み推進 ・感染症への取組み推進 ・妊娠出産に対する情報提供 ・適正受診への情報提供 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診やがん検診の利用を促進する。 ・がんの早期発見、早期治療の必要性の啓発を行う。 ・禁煙の啓発を行う。 ・生活習慣病に罹患する前の若年のうちから健康啓発を行う。飲食の改善や運動習慣の定着に向けた取り組みを実施する。 ・妊娠・出産・子育て期の健康情報等を発信する。 ・新型コロナウイルス感染症の予防に関する啓発を実施する。 ・市販薬での対応可能疾病に対する適正受診の啓発 	✓
3	ケ	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病罹患率（糖尿病・脂質異常症）と重症化及び合併症の増加の懸念 ・健康づくり、予防に対する意識の低下の懸念 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診を促進や受診勧奨を行う。 ・生活習慣病罹患防止の健康啓発を行う。 	✓
4	コ	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診受診率低下の懸念 ・生活習慣病改善による罹患抑制が低下している可能性 ・女性の健康づくりへの支援の不足 ・喫煙との関係等、健康情報提供不足の可能性 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診やがん検診受診の利用を促進する。 ・がんの早期発見、早期治療の必要性の啓発を行う。 ・生活習慣病に罹患する前の若年のうちから健康啓発を行う。飲食の改善や運動習慣の定着に向けた取り組みを実施する。 ・女性（特に被扶養者）への情報提供や健診受診勧奨を行う。 	✓
5	サ	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルスに対する啓発と情報提供の不足 ・ストレスチェックの活用 ・休職者、通院者に対する支援の不足 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックを促進する。 ・相談の方法や相談機関情報の提供を行う。 ・就労環境や就労状況の改善や配置を検討する。 ・休職者への職場復帰対応、再休職防止への対策を行う。 	✓
6	シ	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科予防に対する対策不足の懸念 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科健診の受診勧奨を行う。 ・歯磨きやマウスウォッシュ等の施行を推進する。 	✓
7	ス	<ul style="list-style-type: none"> ・健診未受診者は支援を得る機会が少ないため、医療費が高くなる ・生活習慣病発症を見逃し、重症化する可能性 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者、被扶養者各々に健診受診の必要性の啓発、及び、健診受診勧奨を行う。 ・医療受療者に対する特定健診の受診勧奨を実施する。 ・被扶養者の特定健診受診に対して、インセンティブの検討する。 	✓
8	セ	<ul style="list-style-type: none"> ・要精検者の重症化予防が不足の可能性 ・重症化予防における健康リスクの高い方を見逃し、重症化する可能性 ・医療機関受診につながっていない者が一定数いる 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・重症化リスクが高い者への（医療機関）受診勧奨を実施する。 	✓
9	ソ	<ul style="list-style-type: none"> ・運動習慣のリスク保有者は一定数存在し、経年で増加傾向にある ・令和4年度の睡眠習慣のリスク保有者数が多くなっている ・特に被保険者のリスク保有率が増加傾向にある 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングイベントの実施 ・ウェアラブル端末を活用した運動機会とインセンティブの提供 ・睡眠に関する情報提供と啓発 	✓

10	タ, チ, ツ	<ul style="list-style-type: none"> ・高血圧症重症化予防の推進 ・脂質異常症重症化予防の推進 ・糖尿病重症化予防の推進 	→	<ul style="list-style-type: none"> ・重症化リスクが高い者への（医療機関）受診勧奨を実施する。 ・生活習慣病のコントロール不良・治療中断者への保健指導と医療機関との連携を図る。 ・就労環境や就労状態の改善や配置を検討する。 ・特に被保険者に対する保健指導と医療機関受診を強化する。 	✓
11	テ, ト	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病のコントロール不良からの糖尿病性腎症、または高血圧からの腎症の者がいる可能性がある ・糖尿病の治療中断者が9人いる ・被扶養者の治療中断者が多い ・CKDのステージ4, 5が被保険者のみにいる 	→	<ul style="list-style-type: none"> ・健診未受診者で過去に糖尿病治療歴があり、現在治療中断中の9人のフォローを実施する。 ・ステージ4, 5の被保険者全員に医療機関を受診させる。 	✓
12	ナ, ニ, ヌ	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導終了率が低く、生活改善に繋がっていない可能性 ・生活習慣病増加による、医療費増加の可能性 ・保健指導を受ける人も割合が低く、そのために生活改善が進まず、生活習慣病が重症化している。 	→	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導の利用、被扶養者の特定健診の受診を推進する。参加勧奨の電話や通知などを実施する。 ・利用しやすい指導方法（ICTやウェアラブル端末の活用）や指導業者の選択肢を増加する。 ・指導対象者に対するインセンティブを活用（初回・終了回、改善した場合）し、参加を勧奨する。 	✓
13	ネ, ノ	<ul style="list-style-type: none"> ・医科、歯科での使用率が低い ・一部の人でジェネリック医薬品使用への抵抗感がある可能性 ・未成年の単独受診で、後発医薬品使用の申出ができていない可能性が高い 	→	<ul style="list-style-type: none"> ・保険証に後発医薬品使用に関するシールの貼付を推進 ・後発医薬品差額通知の送付 	✓
14	ハ, ヒ	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢とともに多剤になる傾向 ・基礎疾患を有することでより多剤になる可能性 ・かかりつけ薬局やお薬手帳の活用不足 	→	<ul style="list-style-type: none"> ・適正服薬についての啓発を実施する。 ・適正服薬通知等の通知や電話勧奨を実施し、啓発を図る。 ・市販薬での対応可能疾病に対する適正受診の啓発とインセンティブ（市販薬を安価に購入できる方法の提供）の導入を検討する。 	✓

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
	<p>加入者数は年々増加しており、年少者が減少、生産年齢（15-39歳、40-64歳）と前期高齢者が増加傾向である。特に前期高齢者の割合が増加している。40歳以上が全体の約5割、被保険者では約6割を占める。加入者数は被保険者が被扶養者よりやや多い。</p> <p>1 男女の比率は4:3。男女とも45-54歳の割合が高く、20~44歳の割合が少ない。</p> <p>被保険者は男性が女性の3.3倍多く、45-59歳の割合が高い。</p> <p>被扶養者は、女性が男性の1.8倍多く、40歳以上の男性は4人である。0-19歳までの割合が高く、女性では45-54歳の割合も高い。</p>	→	<ul style="list-style-type: none"> ・加入者への情報提供（加齢と疾患・医療費増加の現状の周知、早期治療によるメリットと重症化によるデメリットの見える化） ・管理者との情報共有（加齢と疾患・医療費増加の現状の周知、早期治療によるメリットと重症化によるデメリットの共有）

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
-----	----	--	--------------

1	<p>【特定健康診査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被保険者：事業主から案内。 35歳以上は人間ドック健診がメインとなっている。 ・被扶養者：人間ドック（自己負担1万円）、特定健康診査（無償） 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・加入者全体での受診率は8割となっている。（国9割、加算には該当しない。）
2	<p>【特定保健指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門性の高い事業者への外部委託により、特定保健指導対象者への案内から実施までのスピード感を早めたことに加え、案内文の内容を強めにするなどの工夫を行い、受診率が向上（R3：3.8% ⇒ R4：29.0%） ・ICT保健指導を導入し、対面でなくとも保健指導が可能な環境を整備。 ・被扶養者の保健指導は実施されていない。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・加入者全体での実施率は、令和4年度実績で29.0%となっている。 ・被扶養者の特定保健指導対象者についての事業検討が必要。
3	<p>【総合健診補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40歳以上の被扶養者に受診券を配布。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・被扶養者の受診率が低い。特に被扶養者へは、被保険者経由の案内なので周知されていない可能性がある ・再検査等のフォローができていない。
4	<p>【がん検診】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大腸がん検診：年1回実施 ・子宮頸がん検診：年1回実施（婦人科健診併給は×） 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・案内のみとなっており、受診者数は増えていない。 ・再検査等のフォローができていない。
5	<p>【歯科保健指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10拠点で実施 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の大都市の事務所で開催している。 ・施設歯科健診をどう進めるかが課題。
6	<p>【ウォーキング（運動イベント）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングラリー：年4回実施 ・→100万円（あるくと） 	➔	-
7	<p>【救急保健衛生医薬品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規被保険者へ配布 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に必要か不明。
8	<p>【自治体及び婦人科検診】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体健診・婦人科健診：上限10,000円を補助 	➔	-
9	<p>【インフルエンザ予防接種助成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被保険者：事業主と連携し集団接種を推進している。 ・被扶養者：健診補助を1000円/回 	➔	-
10	<p>【健康相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業医には相談できる体制となっている。（母体企業主体） ・健保様主体ではやっていなく、健保は呼ばれたところに参加いただいている。 	➔	-
11	<p>【禁煙対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康増進手当受領者（被験者が対象）が支給されている8割。 ・喫煙率25% 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進手当受領者のうち、実際はタバコをやめていない者が5%いる。 ・コラボヘルスでの対策を考えている。（年齢は全体）
12	<p>【後発医薬品使用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施されている。 ・通知案内で送付されている。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・使用率：80%を超えている。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

- ①保健事業の認知
- ②特定健康診査の受診率向上
- ③特定保健指導の実施率向上

事業全体の目標

- ①保健事業の広報活動を強化する。
- ②加入者向けの直接的な通知による行動変容を促す。
- ③特定保健指導の環境整備

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

その他	健康相談
-----	------

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	後発医薬品の使用促進
保健指導宣伝	重複服薬・多剤服薬者向け啓発通知の発行
疾病予防	がん検診の費用補助
疾病予防	健診結果でハイリスクかつ未治療者への対策
疾病予防	生活習慣病の重症化予防
体育奨励	ウォーキング（健康イベント）

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
加入者への意識づけ																				
その他	2	既存	健康相談	全て	男女	18～74	被保険者	2	ケ	-	イ	母体企業主体で、産業界に相談できる体制を整備	事業主との連携体制の構築	事業主との連携体制の構築	事業主との連携体制の構築(見直し)	事業主との連携体制の構築	事業主との連携体制の構築	事業主との連携体制の構築	メンタルヘルス疾患の増加がみられるため、産業医面談による加入者へのフォローを行う	・メンタルヘルスに対する啓発と情報提供の不足 ・ストレスチェックの活用 ・休職者、通院者に対する支援の不足
衛生委員会の参加(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)分析結果を基に衛生委員会にて事業主との情報共有を行う。													数量的指標評価が困難であるため(アウトカムは設定されていません)							
個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存	特定健診	全て	男女	40～74	被扶養者	1	ケ,サ	-	ア,ウ	-	被保険者)事業主の定期検診を利用する被扶養者)人間ドックの費用補助及び特定健康診査受診券の送付	被保険者)事業主の定期検診を利用する被扶養者)人間ドックの費用補助及び特定健康診査受診券の送付	被保険者)事業主の定期検診を利用する被扶養者)人間ドックの費用補助及び特定健康診査受診券の送付	被保険者)事業主の定期検診を利用する被扶養者)人間ドックの費用補助及び特定健康診査受診券の送付	被保険者)事業主の定期検診を利用する被扶養者)人間ドックの費用補助及び特定健康診査受診券の送付	被保険者)事業主の定期検診を利用する被扶養者)人間ドックの費用補助及び特定健康診査受診券の送付	健診実施により将来の医療費適正化を図る	・健診未受診者は支援を得る機会が少ないため、医療費が高くなる ・生活習慣病発症を見逃し、重症化する可能性 ・高血圧症重症化予防の推進 ・脂質異常症重症化予防の推進 ・糖尿病重症化予防の推進 ・糖尿病のコントロール不良からの糖尿病性腎症、または高血圧からの腎症の者がいる可能性がある ・糖尿病の治療中断者が9人いる ・被扶養者の治療中断者が多い ・CKDのステージ4、5が被保険者のみにいる
特定健診実施率(【実績値】80% 【目標値】令和6年度：82% 令和7年度：84% 令和8年度：86% 令和9年度：88% 令和10年度：90% 令和11年度：90%)													内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】- 【目標値】令和6年度：17.0% 令和7年度：16.8% 令和8年度：16.6% 令和9年度：16.4% 令和10年度：16.2% 令和11年度：16%)R4は17%							
特定保健指導事業	4	既存	特定保健指導	全て	男女	40～74	被扶養者	1	ケ,コ,サ	-	ウ	-	特定保健指導対象者に対する受診勧奨の徹底	特定保健指導対象者に対する受診勧奨の徹底	特定保健指導対象者に対する受診勧奨の徹底	特定保健指導対象者に対する受診勧奨の徹底	特定保健指導対象者に対する受診勧奨の徹底	特定保健指導対象者に対する受診勧奨の徹底	特定保健指導により将来の医療費適正化を図る	・特定保健指導終了率が低く、生活改善に繋がっていない可能性 ・生活習慣病増加による、医療費増加の可能性 ・保健指導を受ける人も割合が低く、そのために生活改善が進まず、生活習慣病が重症化している。 ・運動習慣のリスク保有者は一定数存在し、経年で増加傾向にある ・令和4年度の睡眠習慣のリスク保有者数が多くなっている ・特に被保険者のリスク保有率が増加傾向にある
特定保健指導実施率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：40% 令和8年度：50% 令和9年度：55% 令和10年度：60% 令和11年度：60%) 国の目標値60%、令和4年度実績：29.4%													特定保健指導対象者割合(【実績値】- 【目標値】令和6年度：24% 令和7年度：24% 令和8年度：24% 令和9年度：24% 令和10年度：24% 令和11年度：24%)24~23%							
保健指導宣伝	7	既存	後発医薬品の使用促進	全て	男女	0～74	加入者全員	1	キ,ク	-	ウ	ジェネリック医薬品使用促進通知の発行	後発医薬品使用促進通知の実施	後発医薬品使用促進通知の実施	後発医薬品使用促進通知の実施	後発医薬品使用促進通知の実施	後発医薬品使用促進通知の実施	後発医薬品使用促進通知の実施	後発医薬品のうち、後発医薬品への切替可能な医薬品について、後発医薬品への切替を促進し、薬剤費抑制を図る ・医療費削減	・医科、歯科での使用率が低い ・一部の人でジェネリック医薬品使用への抵抗感がある可能性 ・未成年の単独受診で、後発医薬品使用の申出ができていない可能性が高い
ジェネリック医薬品使用促進通知回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-													後発医薬品利用率(【実績値】85.5% 【目標値】令和6年度：85% 令和7年度：86% 令和8年度：87% 令和9年度：88% 令和10年度：89% 令和11年度：90%)							
新規	5	新規	重複服薬・多剤服薬者向け啓発通知の発行	全て	男女	18～74	加入者全員	1	キ,ク	-	ウ	・重複服薬・多剤服薬者向け啓発通知の発行 ・個別案内の強化	適正受診・服薬啓発通知の実施	適正受診・服薬啓発通知の実施	適正受診・服薬啓発通知の実施	適正受診・服薬啓発通知の実施	適正受診・服薬啓発通知の実施	適正受診・服薬啓発通知の実施	健康を害する可能性のある重複服薬、多剤処方者に対し、啓発通知送付による行動変容を促す ・服薬啓発と合わせ、重複・頻回受診、時間外加算・夜間早朝加算・休日加算発生者に対する適正受診に関する啓発通知実施によるリテラシー向上	・加齢とともに多剤になる傾向 ・基礎疾患を有することでより多剤になる可能性 ・かかりつけ薬局やお薬手帳の活用不足
多剤服薬通知発行回数(【実績値】- 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-													多剤服薬該当割合(【実績値】- 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)服薬6種類							
													900	900	900	900	900	900		

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標									
疾病予防	3	既存	がん検診の費用補助	全て	男女	35～74	その他	1	ア	-	ウ	-	被扶養者向けがん検診の費用補助	被扶養者向けがん検診の費用補助	被扶養者向けがん検診の費用補助	被扶養者向けがん検診の費用補助	被扶養者向けがん検診の費用補助	被扶養者向けがん検診の費用補助	被扶養者向けがん検診の費用補助	健診実施により将来の医療費適正化を図る	<ul style="list-style-type: none"> 健診未受診者は支援を得る機会が少ないため、医療費が高くなる 生活習慣病発症を見逃し、重症化する可能性 がん、生活習慣病、呼吸器系への取組み推進 感染症への取組み推進 妊娠出産に対する情報提供 適正受診への情報提供
	オプション利用者数【実績値】239人 【目標値】令和6年度：250人 令和7年度：300人 令和8年度：350人 令和9年度：400人 令和10年度：450人 令和11年度：500人)令和5年度実績 大腸がん検診：107名、子宮がん検診：132名												数量的指標評価が困難なため。(アウトカムは設定されていません)						<ul style="list-style-type: none"> がん検診受診率低下の懸念 生活習慣病改善による罹患抑制が低下している可能性 女性の健康づくりへの支援の不足 喫煙との関係等、健康情報提供不足の可能性 		
	4	新規	健診結果でハイリスクかつ未治療者への対策	全て	男女	40～74	加入者全員	1	ク	-	・対象者の抽出、健康レポート発行	ア,ウ	-	・対象者抽出 ・健康レポート発行によるハイリスク者への医療機関受診勧奨	・対象者抽出 ・健康レポート発行によるハイリスク者への医療機関受診勧奨	・対象者抽出 ・健康レポート発行によるハイリスク者への医療機関受診勧奨	・対象者抽出 ・健康レポート発行によるハイリスク者への医療機関受診勧奨	・対象者抽出 ・健康レポート発行によるハイリスク者への医療機関受診勧奨	・対象者抽出 ・健康レポート発行によるハイリスク者への医療機関受診勧奨	・健診結果にて、高血圧、脂質異常症、糖尿病、肝疾患のリスク有かつ医療機関未受診者に対する医療機関受診勧奨の実施 ・早期治療による医療費の抑制	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病罹患患者（糖尿病・脂質異常症）と重症化及び合併症の増加の懸念 健康づくり、予防に対する意識の低下の懸念
医療機関受診勧奨者数【実績値】- 【目標値】令和6年度：600人 令和7年度：600人 令和8年度：600人 令和9年度：600人 令和10年度：600人 令和11年度：600人)-												受診勧奨者の医療機関受診率【実績値】- 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)-						<ul style="list-style-type: none"> 高血圧症重症化予防の推進 脂質異常症重症化予防の推進 糖尿病重症化予防の推進 			
4	新規	生活習慣病の重症化予防	全て	男女	40～74	加入者全員	1	キ,ク	対象者の抽出、個別案内、実施	ウ	CKD（慢性腎臓病）及び糖尿病性腎症重症化予防に関する対象者把握	・事業の企画立案 ・対象者抽出	・事業の企画立案 ・対象者抽出と実施	・対象者の抽出、個別案内実施 ・ICTまたは対面による指導	・対象者の抽出、個別案内実施 ・ICTまたは対面による指導	・対象者の抽出、個別案内実施 ・ICTまたは対面による指導	・対象者の抽出、個別案内実施 ・ICTまたは対面による指導	CKD（慢性腎臓病）及び糖尿病性腎症重症化予防に関する対象者を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> 加齢（特に50代以降）に伴う疾病発症、重症化による医療費の増加 仕事と治療の両立 被扶養者が病気になることで起こる仕事と看護の両立 		
																			<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病罹患患者（糖尿病・脂質異常症）と重症化及び合併症の増加の懸念 健康づくり、予防に対する意識の低下の懸念 		
																			<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病のコントロール不良からの糖尿病性腎症、または高血圧からの腎症の者がいる可能性がある 糖尿病の治療中断者が9人いる 被扶養者の治療中断者が多い CKDのステージ4、5が被保険者のみにいる 		
受診勧奨対象者数【実績値】- 【目標値】令和6年度：80人 令和7年度：80人 令和8年度：80人 令和9年度：80人 令和10年度：80人 令和11年度：80人)-												数量的指標評価が困難であるため(アウトカムは設定されていません)						<ul style="list-style-type: none"> 運動習慣のリスク保有者は一定数存在し、経年で増加傾向にある 令和4年度の睡眠習慣のリスク保有者数が多くなっている 特に被保険者のリスク保有率が増加傾向にある 			
5	既存	ウォーキング（健康イベント）	一部の事業所	男女	20～74	被保険者、被扶養者	3	ケ	-	ア	-	加入者向けウォーキングイベント開催による健康増進	加入者向けウォーキングイベント開催による健康増進	加入者向けウォーキングイベント開催による健康増進	加入者向けウォーキングイベント開催による健康増進	加入者向けウォーキングイベント開催による健康増進	加入者向けウォーキングイベント開催による健康増進	健康の増進により職場の活性化を図る	<ul style="list-style-type: none"> 運動習慣のリスク保有者は一定数存在し、経年で増加傾向にある 令和4年度の睡眠習慣のリスク保有者数が多くなっている 特に被保険者のリスク保有率が増加傾向にある 		
																			<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングイベントの開催【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)年1回、岡山、井波、高萩で実施 		
																			数量的指標評価が困難であるため(アウトカムは設定されていません)		

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施

注4) ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内にも実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築

ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス/ライブラリーの設置） シ. その他